

# 広報 しろいし

2010 5  
平成22年5月1日発行

■白石市のホームページ <http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/>

特集

## 統合—白高と白女— 新たな出発

伝統を引き継ぎ、さらなる飛躍を！  
～新生白石高等学校 誕生！～

4月8日、白高と白女の統合によって誕生した、新生「白石高等学校」の開校式と入校式、そして第1回入学式が開催されました。統合により共学となった同校で、初代生徒会長となった我妻克哉さん（写真左）と梶賀まな美さんが、お互いに協力して新たな伝統を築いていくと誓いました。

今月号では、統合前の両校を振り返るとともに、新しい白石高校への思いを紹介します。

白石高校 110年の沿革		
1899	明治32	刈田中学講習会として創立
1901	34	私立刈田中学校と改称
1903	36	郡立刈田中学校となる
1910	43	宮城県立白石中学校となる
1919	大正 8	宮城県白石中学校と改称
1948	昭和23	4月、新学制に伴い宮城県白石高等学校と改称。7月には定時制課程が併設される
1953	28	野球部が東北大会で優勝し、甲子園出場を飾る
1959	34	プール落成 (60周年記念事業)
1963	38	白石高校対角田高校の定期戦が始まる
1968	43	創立70周年記念事業 生徒会館 (益岡造士館) 建設
1969	44	新校舎完成
1973	48	制服が自由化される
1978	53	創立80周年記念式典
1981	56	第2グラウンド落成
1983	58	造士館道場落成
1988	平成元	創立90周年記念式典
1991	3	白心堂落成
1999	11	創立100周年記念式典 第二屋内運動場新築
2007	19	定時制中心校 大河原商高との統合により募集停止



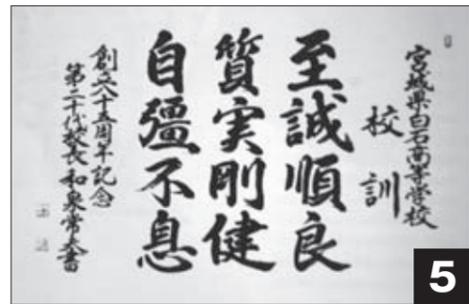
2



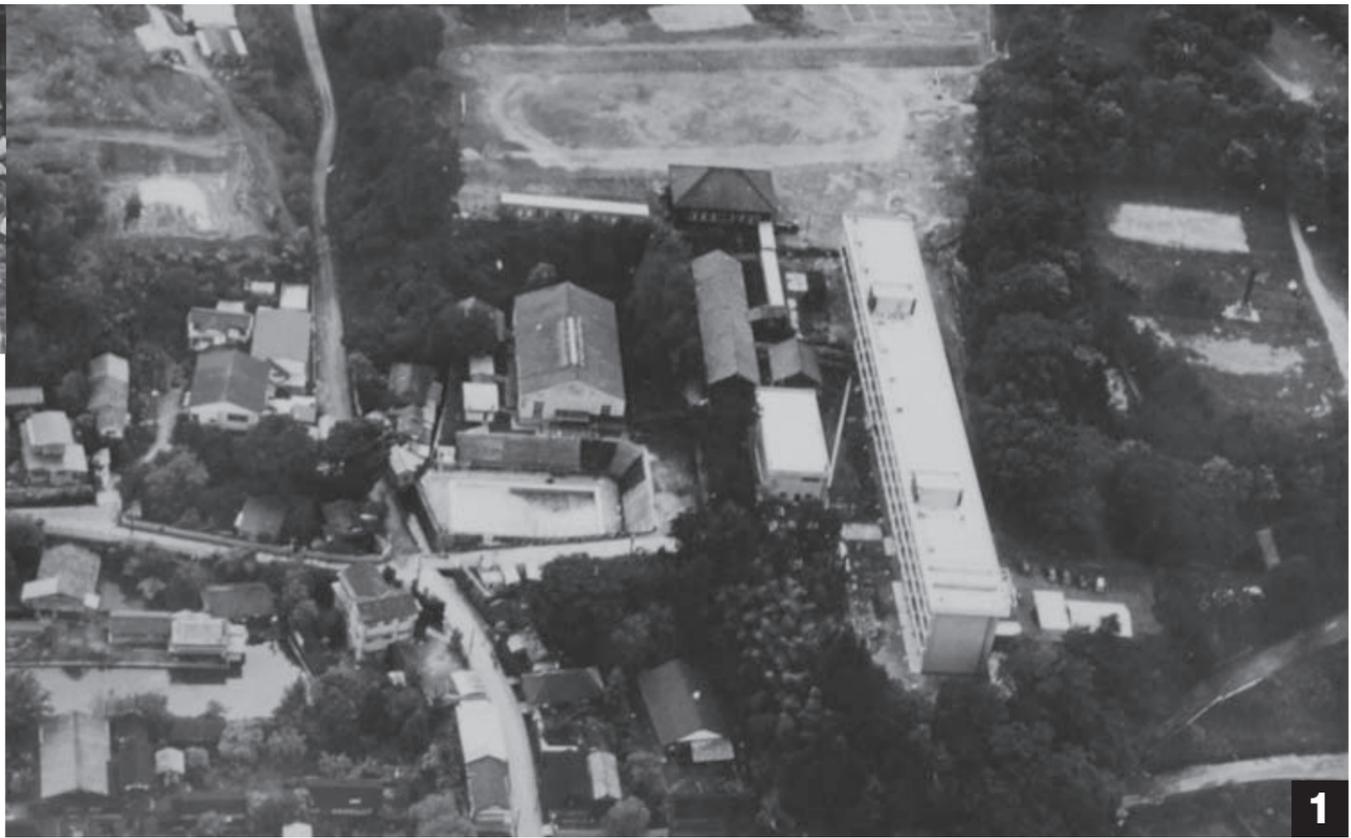
3



4



5



1

# 第1章 それぞれの歴史

白高110年・白女99年の歩みには、さまざまな歴史がある。その歴史は両校を育て、生徒たちの人生の基礎を築き、白石の基礎を築いた。そして、時代は変わっても創立以来の精神は受け継がれ、人々の心に生き続ける。第1章では、両校の歴史をひもといてみる。



## 宮城県白石高等学校

「学び」と「問い」を求め続けた110年  
その伝統と誇りを新生白石高校に引き継ぐ

1新校舎完成当時の航空写真 2野球部が甲子園出場を果たした昭和28年。東北大会優勝の祝賀パレードの様子 3創立者の足田運猷氏 4同じく創立者である巨理晋氏 5白高の3つの校訓 (第20代校長和泉常夫氏書) (資料提供: 宮城県白石高等学校)

### はじまりー 刈田中学講習会の創立

白石高等学校は今から110年前の明治32(1899)年に、私立の刈田中学講習会として、巨理晋氏と足田運猷氏を中心とした地元有志者により創立された。

この設立には経緯がある。さかのほること7年前の明治25(1892)年、宮城県立の中学校が仙台市に初めて開校するなど、全国的に教育制度の整備が進められた時代であった。しかし、当時1校しかなかった県立中学校では、志願者の増加に対応できず、とりわけ郡部での中学校増設が課題となった。ここ刈田郡においても明治29(1896)年、郡立分校の設置運動が展開され、県に上申書が提出された。時期を同じくして志田郡(大崎市)、伊具郡(角田市)、登米郡(登米市)も上申書を提出していた。その結果、志田、伊具両郡のみ設立が認められ、刈田郡は却下された。この結果を非常に残念がった巨理氏は、「地方文化・産業の発展には中等教育機関の設立が必要」と、近所で旧知の仲であった足田氏に訴えたのである。こうして足田氏は人々に熱心に働き掛け、有志者を募り、ここ

に刈田中学講習会が誕生した。講師は小学校関係者が引き受け、無報酬だったとされている。その後、明治36(1903)年に公立の中学校となり、戦後を迎える。

### 戦後ー 新制高校への移行

戦後の約65年間は、時代の変化とともに、人も高校も大きく変化した。第二次世界大戦後の教育改革によって、新学制が成立した。昭和23(1948)年に公布された学校教育法により、宮城県白石高等学校が誕生した。政治や社会の変化により、幾度となく教育課程が見直され、進学校としての地位も築いていった。昭和40年代になると、現在の白高の面影が現れ始める。昭和44(1969)年に現在の校舎が完成した。そして、制服が自由化されたのもこの時代である。この時代は大学紛争などの学生の政治運動が盛んになった。白高においても、制帽・制服の自由化を求める動きが起きた。まず昭和46(1971)年に制帽が自由化され、2年後の昭和48(1973)年に制服が自由化された。「白高は私服」と単純に認識する方が多いかも

### 白石高等学校校歌

(昭和24年制定)  
作詞 久松 潜一  
作曲 福井 文彦  
一、不忘のふもと 水清らかに  
新生日本の 基を築く  
つとめ担いて 学にいそむ  
若人我等の 道はほろけし  
二、叡智のともしび 高く掲げて  
時代を貫く 真理求めつつ  
こころ豊かに たゆまず励み  
理想の花を ここに咲かせん  
若人我等の 道はほろけし  
理想の花を ここに咲かせん

### 旧制白石中学校校歌

(昭和2年制定)  
作歌 土井 晩翠  
作曲 島崎赤太郎  
一、六千余尺雄雄しくも  
大空しのぐ不忘の  
山は理想の面影よ  
大地をもとに向上の  
高き心を彼に見よ  
二、清き流れよ白石の  
川は何らの連想か  
宮城野信夫古へに  
近くは小野の高き名に  
かほりは高し世々の跡  
三、あ、我が徽章ばら藤の  
中の井桁の形もよし  
すうる基も名君の  
勲をしたう中学の  
誉を揚げよ若き友

### 県南の雄としてー 築き上げた伝統を継承

白高の110年には、ここでは語り尽くせないほどの歴史がある。それは、生徒同士、先生と生徒、白高と地域といったつながりの中ではなく、全国で創立以来、卒業生徒数は全日制課程16,275人、定時制課程1,761人、その合計は18,036人を数える。この間、県内ばかりでなく、全国で活躍する人材を多数輩出してきた。白高創立の精神、卒業生が築き残した伝統は自らが進んで努め励む「自強不息」の校訓に集約される。そしてその意志は、新生白石高校に引き継がれる。

白石女子高等学校 99年の沿革		
1911	明治44	町立白石実科高等女学校として創立
1918	大正7	郡立白石実科高等女学校と改称
1920	9	郡立白石高等女学校に昇格
1921	10	宮城県白石高等女学校と改称
1922	11	寄宿舎開設
1948	昭和23	4月、新学制に伴い宮城県白石女子高等学校と改称(3年制、1学年5学級、定員750人)
1957	32	寄宿舎を閉鎖し銀杏寮と改称。以後、作法室として使用
1959	34	第1体育館落成。校庭拡張
1966	41	山小屋「しゃくなげ荘」完成
1967	42	衛生看護科新設、准看護婦養成施設に指定(1学年1学級) 7月、水泳プール竣工式
1969	44	新校舎全面完成
1970	45	生徒会館(創立60周年記念)完成
1980	55	定時制課程募集停止
1981	56	銀杏寮解体
1983	58	定時制課程閉校記念式典挙行
1991	平成3	銀杏会館(創立80周年記念会館)完成
1996	8	蔵王分校が宮城県蔵王高等学校として独立
2002	14	看護科新設、看護師養成施設に指定。10月、山小屋「しゃくなげ荘」解体
2005	17	専攻科看護科第1回生入学(2年制、1学年定員40人)



2



4

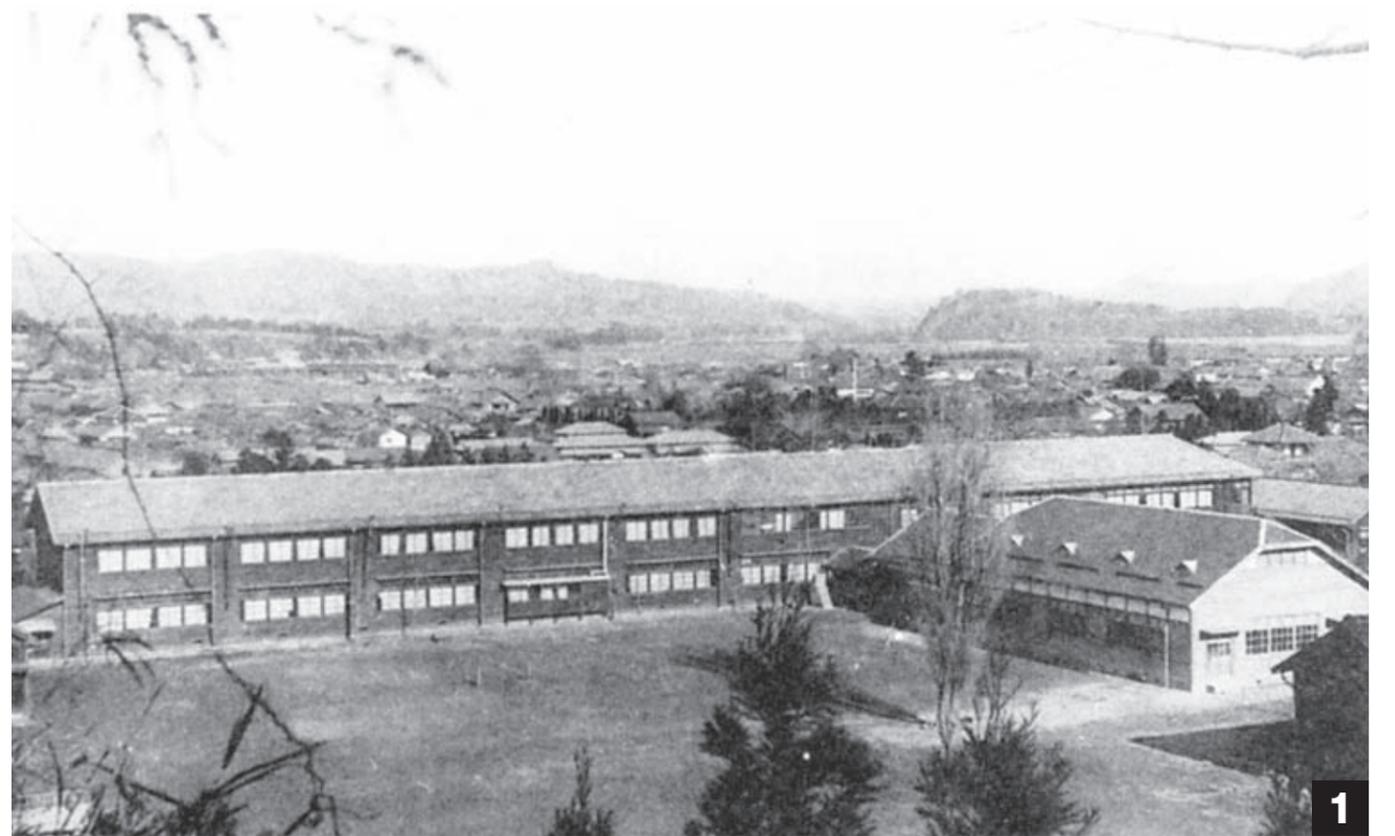


3



5

1 昭和9(1934)年当時の校舎全景・写真 右側が講堂兼体育館 2 昭和45(1970)年の白女高祭後夜祭でのキャンドルサービス「乙女の誓い」 3 創立者であり、初代校長も務めた川田百人氏 4 大正9(1920)年、新築になった二階建校舎正面玄関と校木の連理の榎 5 白女の校歌であり白女の魂である一文(伊藤廣毅氏書)(資料提供:宮城県白石女子高等学校)



1



# 宮城県白石女子高等学校

白女99年「明るく、強く、美<sup>うる</sup>わしく」  
その思いは新生白石高校でも変わらない

## はじまり—実科高等女学校の創立

明治44(1911)年9月28日、白石町立白石実科高等女学校が創立された。ここから白石女子高等学校の歴史が始まる。当時、白石第二尋常高等小学校長であった川田百人氏は、高等小学校に付属していた2年制の補習科を分離独立させ、「白石町立白石実科高等女学校」としたのである。

大正7(1918)年4月、町が2つの小学校を維持することは経済的に負担が大きいためという理由から、高等女学校の校地や校舎を借用していた白石第二尋常高等小学校が、白石第一尋常高等小学校に統合されることになった。

このとき、高等女学校も廃止するべきという声が高かったが、初代校長の川田氏と、白石高等学校の前身である刈田中学講習会を創立した巨理晋氏(3ペーJ写真4)の努力と奔走により、経営や管理を郡に移管し「刈田郡立実科高等女学校」とすることで廃止を免れたのである。

大正9(1920)年4月には、刈田郡立白石高等女学校、そして翌年4月からは、念願かなって宮城県白石高等女学校となったのである。

## 戦後—新たな出発、新制高校

昭和23(1948)年4月1日、県内36校の県立高等学校のひとつとして、3年制、定員750人の宮城県白石女子高等学校が新たな出発をした。

女子教育の戦後改革は、男女性差別が否定されて、男女にかかわらず教育の機会均等が実現したことであり、言えるだろう。学校に残る記録では、昭和30(1955)年6月に全生徒に新制服の説明をしたとある。これ以降、検討を進め昭和32(1957)年に新制服が決定、昭和33(1958)年度入学生から、全員着用することとなった。その制服が本年3月までの52年間、着用された制服である。

昭和38(1963)年、全日制課程の普通科が1学年5クラスから7クラスに増加した。また、昭和42(1967)年からは「衛生看護科」が新設され、文部省(現在の文部科学省)より准看護婦を養成する学校として指定された。

このため、昭和38年から昭和44(1969)年まで、すべての校舎を鉄筋コンクリートで新築する工事が行われた。6年間にわたる長期工事のため、一時期には白石工業高校の教室を借

### 白石女子高等学校校歌

(昭和26年制定)  
作詞 白鳥 省吾  
作曲 信時 潔

一、白石川の水清く  
不忘山の永劫の雪  
み空に匂ふふるさとに  
文化の光輝けて  
輝き立てる学び舎よ

二、見よ益岡の桜花  
陣場の松に照り映ゆる  
緑の春を門出とし  
朝な夕なに励むとき  
喜びの声こだませり

三、新しい世のあけはほの  
若き胸揺る鐘の音  
真理の泉汲む幸の  
明るく強く美しく  
大地を踏みていざ行かん

### 白石高等女学校校歌

(昭和11年制定)  
作歌 小倉 博  
作曲 細川 碧

一、書よむ窓のしづけさに 音もさやく傳ひくる  
白石川の流水の きのふの淵はけふの瀬と  
かはれど霞むまもなく 進みゆく世におくれじと  
おもひきためつすぢに

二、名に高かりし城のあと 今もおもひで益岡の  
春は木ごとに花にほひ 秋は紅葉のにしきおる  
おのづからなる天地の すがたに深きあはれ知る  
心やしなへをりふにし

三、日ごとに對ふ忘れずの 山はうき世のならひと  
時に黒雲たまよひ 雨風いたくあるれども  
いはほの根ざし堅くして 揺らぐこゝなきふしは  
あらばやわれちをみなにも

用して授業を行うなど、教室不足の対応に負われた。昭和44年には、すべての校舎が完成した。このとき、大正11(1922)年県立高等女学校時代に建てられた「講堂兼雨天体操場」が、昭和45(1970)年に一部解体されたものの、歴史の面影を残す唯一の建物となっていた。平成3(1991)年に生徒研修棟が建設されることになり、解体もやむを得ずとなったが、同窓生を中心に保存しようという声が高まり、改装と移転を行い同年3月に「卓球場」と命名され、平成22年の統合まで使用された。

## 白女の魂—「明るく、強く、美<sup>うる</sup>わしく」

白女最後の校長を務めた須藤亨先生は、創立99年誌に、「白女が歩んできた99年という道のりは、単なる時間の流れではない。自らの人生を探し求めながら母校の未来を思いやり過ごした、2万5千人を超える卒業生と教職員の『生命の道』であったことを確信している」と記した。白女の歴史は99年で歩みを止めたが、校歌にある通り「明るく、強く、美しく」の白女の魂を新生高校へと引き継ぎ、これからも「生命の道」として歩み続けていく。

# 第2章 それぞれの1年

両校にとって「男子校最後」・「白女最後」となった2009年度。それぞれの「最後」を飾るべく、そして、これまでの先輩たちが築き上げてきたものに負けないように、熱い思いを持って生徒たちはこの1年を過ごしてきた。第2章では、両校が歩んだラスト1年を振り返る。

## 白女入学式 女子校最後の年の幕開け

平成21年4月8日、白女最後の入学式が行われた。最後の入学生は普通科161人、看護科40人を合わせた201人。制服姿にとまどうような、幼さが残るその顔に、入学できる喜びと高校生活への緊張が入り交じった表情で、入学式を迎えた。

担任の先生が入学生の名前を呼び、返事とともに起立。ここで、入学生201人全員が須藤

亨校長から入学を許可された。須藤校長は、「合格発表の喜びと感動を忘れずに、これから始まる高校生活を充実させてください」と入学生を歓迎した。

## もうひとつの入学式 専攻科看護科入学式

白女は、平成14年4月に県内で唯一、5年制の看護科が設置された。この専攻科看護科の入学式が、翌日の4月9日に行われた。平成21年3月に看護科を卒業した36人のうち30人が入学。白衣の天使への第一歩を踏

み出した。今回の入学生が、新白石高校での専攻科看護科第1回の卒業生となる。

## 白女の名を後生に残す 記念碑除幕式

4月25日、白女99年の歴史を後世に伝えようと、正門前ロタリーに建立した記念碑除幕式が行われた。記念碑には、高等学校と女子高等学校の校歌が刻まれ、約1世紀に渡る歴史の舞台となった地に、同窓生みん

なの願いがかなった。除幕式では、吉村昌美同窓会長と生徒会長の上西恵子さん（当時3年）が除幕を行い、式典に集まった同窓生や在校生、約300人の前で披露した。あいさつに立った吉村会長は、「この碑を見るたびに、母校への感謝、地域の皆さまへの感謝、そして友人たちへの思い出に、思いをはせることでしよう」と思いもひとしおの様子。また、須藤亨校長は、「この石碑は、この地に白石女子高等学校があったことを、永久に伝えていくことになる」とも、本校の99年の歩みは、同窓生、在校生の人生の歩みと重なるものであります。この石碑は命の道、そして未来へのみちしるべであると言えるものです」とあいさつした。

## 白寿を迎えたお祝い 創立99年記念式典

10月28日、白女の創立99年記念式典が行われた。記念講演の講師を務めた作家の岩槻優佑さん（43回卒）は、「なまなきはなやま」で平成19年に朝日新聞社が主催する「第18回朝日新人文学賞」を受賞した、いわば白女自慢の卒業生である。

「あなたの花を咲かせよう」と銘打った講演では、白女時代のエピソードや東京での大学生生活などを通じて感じた、白女の

素晴らしさを交えながら、白女時代の経験が今の優佑さんの人生観を築いたと熱く語った。「白女で過ごした時間は、あなたの人生の中で花を咲かせるときの、最大の力と必ずなります」と話す優佑さん。統合高としても、白女時代の伝統と誇りを持ち続けてほしいと締めくくった。



1普通科入学式 2専攻科看護科の入学式 3白石城と桜の前で演奏会をピーアールする合唱部 4雨の中行われた記念碑除幕式 599年記念式典で講師を務めた岩槻優佑さん

## 白高入学式 男子校最後の年の幕開け

白女と同日の4月8日、白高体育館で入学式が行われた。全日制161人、七ヶ宿校8人、計169人が式に臨み、1人ずつ名前を呼ばれ、緊張した面持ちで返事をしていった。

千田芳文校長の式辞では、「高校は社会的自立に向けた訓練期間。明るく健やかで充実した高校生活を期待しています」とあいさつ。続いて新入生の伊藤智毅さんが、「誇り高き白高生としての自覚を持ち、いろいろなことに挑戦していきます」と、代表であいさつを述べた。また、入学式後に新入生にインタビューすると、「男子校最後の入学生になったことをうれしく思います」「定期戦で絶対勝ちたい

です」など、期待を胸に話してくれた。

## 対面式と応援練習 上級生の手厚い歓迎

入学式翌日の4月9日以降、白高は5月9日に行われる定期戦モード一色に染まる。まずは、伝統の行事である対面式が体育館で行われた。いわば、新入生の歓迎会のようなものである。新入生は、クラスごとにステージに上がり上級生にあいさつをした。そして、生徒会長の高橋尚也さんが「まだ新入生を『真の白高生』とは認めていない。5月に行われる角田高校との定期戦に向けて、応援練習を頑張ってください。勝利の暁には、凱歌と一緒に歌い、真の白高生として認める」と厳しい言葉を

述べた。新入生にとっては、驚きばかり感じるこの式。過去には、男子校ゆえの手荒い歓迎があったとも言われるが、この対面式と定期戦に向けての応援練習によって、新入生は白高生と自覚し、上級生とともに一致団結して定期戦を迎える（定期戦の様子は8・9ページで紹介）。

## 校内球技大会 上級生や先生と真剣勝負

定期戦が終わると、各部活動では仙南総体や県総体が続き、あつという間に夏休みを迎える。夏休み期間中は受験勉強や部活動、夏休み明けの文化祭の準備など、それぞれに自分がやるべきことをこなしていく。夏休みが明け実力テストが終

わると、球技大会・文化祭と続き、校内はちよつとしたお祭り週間を迎える。

8月26・27日の両日には、校内球技大会が行われた。かつて白高には、陸上祭・水上祭・マラソン大会・球技大会の4つの校内体育大会があった。いずれも歴史ある行事だったが、時代とともに大会は減り、今では球技大会を残すのみとなった。

昨年の種目はバレーボール、バスケットボール、ソフトボール、卓球、バドミントン、ソフトテニスの6つ。クラスごとにチームを結成して臨んだ大会では、学年・先生も関係なく真剣勝負が繰り広げられた。ただそれ以上に昨年は、「男子校最後」というこの時を仲間とともに楽しみたい」という思いが伝わってきた。

## 両校の伝統行事 白角定期戦と白女三大祭

両校を語る上で欠かせないものがある。それは、白高にとっては5月に開催される白角定期戦。白女にとっては、6月から8月にかけて開催される、体育祭・合唱祭・文化祭を合わせた白女三大祭である。それぞれの歴史は古く、生徒たちが最も輝く瞬間のひとつである。また、選手も応援する人も、クラスも高校全体も、ひとつの目標に向かって一致団結する瞬間でもあり、まさに両校の「伝統」と呼ぶにふさわしいものである。ただでさえ生徒の思い入れが強いこの行事。その上、昨年は「男子校最後」「女子校最後」という節目の時を迎えた。これで生徒たちが盛り上がりがないわけがない。



6入学式の様子。緊張した雰囲気が写真からも伝わる 7定期戦前日に行われた壮行式 8球技大会で生徒たちは、仲間との思い出を作るように楽しんだ

8ページ以降では、「男子校最後」「女子校最後」を胸に刻みながら臨んだ、両校の伝統行事である「白角定期戦」と「白女三大祭」に向けた生徒たちの思いを伝える。生徒たちは「最後」に何かを残したい、先輩たちが築いてきたものを上回りたいと真剣に取り組んだ。一生懸命取り組んだからこそ、そこには心の底からわき出る「笑顔」と「涙」があった。

# 男子校最後の白角定期戦



4



6



5



3



1



2

1開会式を前に両校の応援団と生徒が対峙 2バレーボールは9連勝を飾った 3応援団長の新山慎也さんを胴上げ（2009年6月号の表紙を飾った） 4一進一退の攻防を繰り広げたテニス。その勝利に抱き合う選手たち 5バスケットボールは静谷史亜樹さんのゴールで勢いに乗った 622連敗中だった剣道。勝利の喜びに思わず涙 78白女吹奏楽部や白高OBも一緒になって応援 99回表、2対2の同点とされマウンドに集まる白高野球部ナイン 10生徒会長の高橋尚也さんが優勝杯を受け取った

## 5勝 1敗 1引き分け 白高が大勝利を飾る！

5月9日、角田高校対白石高校の平成21年度定期戦が開催された。昭和38年から毎年行われてきたこの戦いは、白高を語る上では欠かすことのできない行事であり、白高最大の行事とも言える。

47回目を迎えた平成21年度は7種目で争われ、気温25度を超える夏日の中、各会場では気温以上に熱い戦いが繰り広げられた。この伝統の戦いに、両校生徒の家族やOBなど、多くの方が観戦に訪れた。



10



9



8



7

### 第47回定期戦の種目別結果

種目	白石高校	角田高校
卓球	3 ○	2 ×
剣道(本数)	4 ○ (6)	4 × (5)
バレーボール	2 ○	1 ×
ソフトテニス	3 ○	2 ×
バスケットボール	92 ○	61 ×
サッカー	0 ×	1 ○
野球	2 △	2 △

そのほかの競技でも選手たちは、それぞれの思いを胸に精いっぱい戦った。2連敗中だった卓球では、手に汗握る接戦を制した。ソフトテニスは、剣道勝利の一報で勢いに乗った。野球も、9回に同点に追いつかれ、さらに逆転のピンチを迎えるも何とか押さえた。

絶対に譲れない相手  
それは最大の好敵手

角田高校も前評判では不利と予想されていたサッカーで勝利。野球でも9回に同点に追いつく粘りを見せた。結果的には大差だが、種目別ではどの試合も紙一重の勝負。定期戦の名にふさわしい戦いだった。

悲願の剣道部  
22連敗の壁を乗り越えた

中でもひとときわ輝いていた競技が剣道。前年まで22連敗中。通算成績も5勝41敗と大きく負け越していた。しかし、今年も角田高校という大方の予想を裏切り、4勝4敗2引き分けという接戦の末、本数勝負となり6対5で見事勝利。剣道部主将の佐山良太さんは、「最後に勝てて本当に良かったです。皆さんの応援のおかげです」と笑顔で語った。試合後のうれし涙と感激は、選手たちの一生の思い出となり、宝となるだろう。

47年の歴史  
仙南の雌雄を決する戦い

昭和38年から毎年行われてきたこの戦いには、単なる対校戦にとどまらない、人を成長させる何かがある。

新入生は真の白高生として認められるために、2年生は1年生の時とは違う思いで、そして3年生は最後の年を飾ろうと、両校の選手・応援団・生徒が全身全霊をかけて戦いに挑む。その中で生徒たちが得たものは、勝利の喜びだけではない。お互いに切磋琢磨することで、自らを成長させてきたのである。

7月18日、白女合唱祭が名取市文化会館を会場に開催された。生徒は、体育祭での優勝とこの合唱祭でのグランプリを獲得することが誇りであり、クラス一丸となってその誇りを目指す。多くの皆さんに白女最後の合唱祭を見ていただきたいと、会場を例年開催していたえびこホールから変更。生徒の家族や同窓生など700人を超える皆さんで満員となった。



6



7



8



5

5 生徒たちの思いが会場に響き渡った 6 伴奏にも自然と力が入る 7 「白女フレンズ」の全員合唱では笑顔とともにこらえきれず涙が… 8 優勝を飾った3年4組の皆さん

●合唱祭実行委員長  
おおは 大場みどりさん

白女最後の合唱祭ということで、どのクラスもグランプリを狙って練習にも熱が入っていました。クラスごとに問題を乗り越えて、今日の素晴らしい結果になったと思います（言葉に詰まりながらインタビューに答えてくれた）。



1

1 綱引き決勝戦は2009年8月号の表紙を飾った 2 勝負を前にクラスで円陣を組む 3 リレーは選手も応援も熱が入る 4 障害物リレーは笑い声が響き渡った

●体育祭実行委員長  
よしだ 吉田 沙織さん

3年生は昼休みに集まって練習をしていました。クラスごとだけでなく、みんながひとつになって応援できたので良い結果となったと思います。統合しても、ぜひ続けてほしいと思います。



2



3



4

審査の結果、3年4組が体育祭に続いてグランプリを獲得し、白女合唱祭は幕を閉じた。

【審査結果】  
★グランプリ…3年4組  
・金賞…3年2組  
・銀賞…3年3組  
・銅賞…3年1組・2年1組  
・学年賞…1年5組・1年4組

美しく響く声！  
チームワークの集大成

白女最後となった合唱祭は、まさに特別だった。各クラスがグランプリを狙って、選曲にも練習にも力が入っていた。

合唱祭は課題曲（校歌3番）と自由曲に分かれ、どのクラスも素晴らしい合唱が続いた。最後の合唱祭には、統合した後も合唱祭を残したいとの思いから、初めて白石高校の生徒26人と教員5人が参加し、全員合唱に加わった。そして、生徒全員によるスクールソング「白女フレンズ」の合唱が始まると、涙を流す生徒や家族、同窓生もおり感動のフィナーレを迎えた。

審査委員長の細淵誠一さんは、「皆さんがこの演奏を作り上げたことは、何よりもクラスごとのチームワークを作り上げたということ。皆さんの演奏は素晴らしいものでした。」と心からの賛辞を述べた。

熱き戦い！  
互いの意地がぶつかり合う

初日の球技大会は、バレーボールとバスケットボール、ドッチボールそして卓球の4種目で争われた。2、3年生は所属する部の競技には出場できないが、1年生はそれが認められている。そのため、初日の球技大会が終わった時点で、1年のクラスが上位を占める。

2日目は陸上競技。この日は梅雨の中休みで朝から強い日差しが照り付け、これから始まる熱戦に拍車をかけた。そして、競技が進むにつれ、気温も熱気も急上昇！毎年、工夫を凝らして行われる障害物リレーでは、小麦粉の中のアめを取ろうと思いつき顔を粉に突っ込むチームもあり、会場には大きな声援と笑い声が響き渡った。

気温も気合も最高に達したのは、最後の競技となった綱引きの時。決勝戦の3年4組と2年5組の対戦は、総合優勝を懸けた大一番となった。競技開始の雷管の轟音が響き渡り、綱がきしむ音が応援の大きな声援にかき消された。結果は3年4組が勝利。2日間に渡った熱戦を制して見事総合優勝を果たし、白女体育祭の最後を飾った。

白女三大祭—LAST 有終の美

# 白女高祭「LAST 有終の美」

8月29・30日の両日、白女と白高の文化祭が開催され、多くの市民の皆さんや卒業生、保護者などが最後の文化祭に足を運んだ。

「LAST有終の美」と銘打った白女高祭では、展示や発表のほか、体育館では演劇などのステージ発表が行われた。一般公開終了後は、生徒だけによる恒例の「後日祭」が開催された。そして、バンド演奏やダンスなどで盛り上がり終演を迎えたころ、最後を惜む生徒の前に大きなケーキのプレゼントが登場！ 齋藤美穂さん（3年生）の「最後の文化祭で大きなケーキをみんなで食べたい」という願いを、仙台市の洋菓子店がかなえてくれたものだった。

美穂さんは「運ばれてきたケーキに、白女の校舎がとてもきれいにデザインされていて、うれしくて涙があふれてきました。人生の中で一番心に残る出来事になりました。本当にありがとうございました」と、流れる涙をふきながら話してくれた。



1 サプライズプレゼントに驚く齋藤美穂さん（写真左）。ケーキは50×60センチ、クラスのみならず実行委員で分け合った（2009年10月号の表紙を飾った） 2 恒例の後日祭は例年以上に盛り上がった 3 4 5 生徒たちは白女最後の文化祭を思い思いに楽しんだ

●文化祭実行委員長  
塚村安夕美さん  
忙しい毎日でしたが、クラスのみならず先生方の協力で成功させることができました。最後の白女高祭にふさわしいものだったと思います。



# はくりゅうぎい 白龍祭「最終龍美」

「最終龍美」と銘打った白高文化祭（白龍祭）も、白女に負けず劣らずの盛り上がりを見せた。生徒たちの熱い思いが詰まったライブやダンスに、会場は熱気の渦に包まれた。恒例の「ミス白高」では、女性顔負けのしぐさで会場を魅了し、大きな歓声がわき起こった。



●文化祭実行委員長  
関谷海志さん  
今までで一番盛り上がりを感じました。3年生はいろいろとプレッシャーがあったと思いますが、最高の思い出を作ることができました。



▲熱い歌声に出演者と観客が一体となった



▲ミス白高優勝者の佐藤大輔さん

## それぞれの予餞式 — 在校生から3年生へ —

統合まで3カ月をきり、センター試験を目前に控えた1月7日、白高の「予餞式」が行われた。わずか15分の短い時間だったが、在校生から3年生へ普段は言えない感謝の言葉やエール交換が行われた。

1月27日には、白女の「予餞会」が開催された。後輩たちから感謝の気持ちを込めた、ビデオレターや出し物が披露された。約2時間にわたる予餞会は、高校生活残り1カ月となった3年生にとって、友達とかわいい後輩たち、そして先生たちと一緒に振り返ることができる催しとなった。卒業式では3年生の「涙」が主役となるが、予餞会では「笑顔」が主役となった。今年の予餞会ではもうひとつの主役があった。平成15年3月の卒業生、村田町出身の小室希

さんがバンクーバー（カナダ）冬季五輪（種目…スケルトン）に、白女史上初めて出場することになり、母校を訪れた。

2年前、母校である白女で教育実習を行った希さんは、今年卒業した3年生が1年生だった時に会合している。希さんは「白女3年間の良い思い出も悪い思い出も全部が、私にとって大切なものです。一緒に過ごした仲間も、今も私を支えてくれていて、3年生は白女の卒業生であることを誇りに思っています。次のステージでも頑張ってください。在校生の皆さんは、統合校の歴史を自分たちの力で作るんだという気持ちで頑張ってください」と、後輩たちに熱いメッセージを送った。希さんの結果は残念なものとなったが、これまで築き上げてきたものが無駄になっただけではない。次のステージでぜひ頑張ってくださいと思う。

## 最後の1ページ — 両校最後の卒業式 —

3月1日、両校最後の卒業式がついに訪れた。最後の卒業生となった白高146人、白女229人は、汗と涙、思い出がいっぱい詰まった校舎に別れを告げ、新たな旅立ちを誓った。

在校生からの送辞では、「先輩たちが築き上げた伝統を忘れず、新白石高校に引き継ぎ未来につないでいきます」と、思い出とともに卒業生に送った。卒業生からの答辞では、「最後の1年は本当に素晴らしいものになりました。この地で培った精神がきっと今後の力になると思います」と、決意を述べた。両校の風景は対照的だった。式から涙であふれていた白女に対して、白高は冷静にこの時を受け止めていた。しかし、外には出さずとも、その秘めた思いは白女と同じだったと思う。

## もうひとつの卒業 — 定時制課程中心校…閉講 —

卒業式後、白高では定時制課程中心校の閉講式が行われた。昭和23年に始まった定時制の歴史。当初は白石・刈田地区に8校あったが、次第に減り本年3月で大河原商高と統合、62年の歴史に幕を閉じた。4年前から募集を停止し、最後の4年生は7人。しかし、光り輝くように生徒も教員もその意識を持って活動し、文化祭や本年2月20日に行われた記念碑除幕式など、さまざまな行事に一生懸命に取り組んだ。この1年で、これまで以上に同窓生などとのつながりが強くなったのではないだろうか。「少ない人数をプラスにして一体感がありました。閉講の実感はまだないですが、本当に皆さんに感謝しています」と教頭の青山純さんはインタビューに答えてくれた。

## 1年を振り返って — 最後は始まりの合図 —

この1年を振り返って思うこと、それは両校ともに最後一歩を飾るべく、さまざまな行事に精いっぱい取り組んでいたことである。特に3年生の思い入れは強かった。白高の定期戦にしても、白女の三大祭にしても、思い出を残そうとその瞬間を大切に過ごしていた。

両校は最後の卒業生を送り出し、白高110年、白女99年の歴史に幕を閉じた。しかし、これが終わりではない。確かに校舎は解体され新しい校舎へと移るが、これまで生徒たちが培った両校の思いは、新生白石高校へ受け継がれる。両校の卒業生たちは、統合の基礎を作り上げた。次は在校生たちが「これまでの伝統を引き継ぎ、新しい道」をつくり始める番である。



1



2

1 白高予餞式。在校生から卒業生にエールが送られた 2 白女予餞会。小室希さんに書道部が書いたメッセージ付きの国旗を手渡した 3 白高卒業式 4 文化祭に集まった、定時制課程中心校の在校生や同窓生、先生で記念撮影 5 白女卒業式では多くの卒業生が涙であふれていた（2010年4月号の表紙を飾った）



3



4



5

# 第3章 開校Ⅱ 新たな出発

白高と白女が統合し、新生「宮城県白石高等学校」が誕生した。歴史ある2つの高校の「統合・共学化」―それは「新たな出発」を意味する。この新しい高校で学ぶ生徒たちは、どんな「加学反応」を見せてくれるだろうか。そして、私たち市民はどうかかわっていけるのか。第3章では、新白石高校を紹介するとともに、さまざまな方たちの思いをつづる。



1 入学生入場。両校の同窓生にとっては、男女共学の風景に不思議さを感じるかもしれない 2 入学生を代表して豊島健太さんが力強く宣誓した 3 開校式で県教育委員会から千田校長（右）に校旗が手渡された 4 新しい校歌が合唱部と生徒会執行部による混声四部合唱で披露された 5 新しい応援団旗。旧白高・旧白女の応援団（現3年生）が集まり、話し合いを重ねデザインを考えた。両校の校章の中央に、応援団の「團」の字を合わせた

### 【校訓】

**志操凜風**：高い志と豊かな情操を備え、凛然として、また風のようにしなやかに周りをつつみ込む器量を持った人格を育む。  
**進取創造**：本来の真摯勤勉な資質に加え、能動的で創造性あふれる気概と展望をもって新しい時代を切り拓き、広く世に貢献できる有為な人となることを目指す。  
**自強不息**：つとめて止むことのない努力、たゆまぬ自己研鑽こそが真に学ぶ者のあるべき姿、真の主體的な人間の生き方であるとの意味で、日々の実践的姿勢として心掛ける。

### 【校章の由来】

白石の「白」をモチーフにして、大きく羽ばたく鳥を表した。3つの校訓を意識して、素晴らしい未来に向かって大きく飛躍する白石高校を図示（214点の公募から小松秀男氏（気仙沼市）のデザインを採用）  
**【スクールカラー=オメガブルー】**  
白銀の残雪をいただいてそびえ立つ不忘山や、澄んだ流れの白石川の鮮やかで深い青色は、凛然・清冽な生徒の気質や校風を表す

### 新生白石高等学校校歌

一、雄々しき蔵王の峯々に 傲いて高き志操もて  
凜たる風を興しつ 万のすがた究めんと  
励む我等を黙し待つ 真理の声を聴けや友  
二、白石川を往く水に 世々の歩みを想いつつ  
易らぬ生命尊きと 新たな時代の理想をば  
常に求めて創造りゆく 我等の業を頌え友  
三、歴史は古き益岡や 学び鍛えし先達に  
躓きて我等は進み行く いざ毗を高く上げ  
自強息まざる気概もて 践むべき道を望め友

※新しい校歌は、作詞・作曲ともに旧白高・旧白女の同窓生によって制作された。

## 宮城県白石高等学校

### 21世紀の社会を担う人材育成 両校の伝統を継承・発展させ、新たな歴史を築く

白石城の桜の開花が宣言され、春の訪れを感じさせた4月8日、白高と白女の統合によって誕生した、新生「白石高等学校」の開校式と入学式、そして第1回入学式が開催された。午前10時からの開校式では、宮城県教育委員会から「開校宣言」があり、千田芳文初代校長に新しい校旗が手渡された。続いて入学式が行われ、旧白高・旧白女を過ごした新2、3年生が、新しい校舎での夢を新たにした。生徒を代表して、旧白高の我妻克哉さんと旧白女の梶賀まな美さん、七ヶ宿校の高橋美貴さんがあいさつ。梶賀さんは「学校が変わったとしても、これまで築き上げてきたものを種としてまき、新しい芽を育てていきます」と述べた。とはいえ、制服と私服が入り交じった光景には、これまで別学で過ごしてきた生徒のとまどいやざこちなさがまだ感じられた。そして、同日の午後1時から入学式が開催された。真新しいスクールジャケットに身を包んだ普通科240人、看護科40人、七ヶ宿校17人の計297人が、1人ずつ担任から名前を呼ばれ、第1回入学生として千田

### 開校Ⅰ 共学化と第1回入学式

校長から入学を許可された。どこか幼さの残るその顔には、「緊張・期待・不安」といったさまざまな思いが入り交じっていた。そして、入学生を代表して豊島健太さんが、「白高・白女の歴史に恥じぬよう勉強・部活動に励むとともに、白高生としての誇りを持ちさまざまなことに挑戦していきます」と、緊張しながらも力強く宣誓した。またこの日は、白女の5年制看護科を引き継いだ、専攻科の入学式も行われ、36人が白衣の天使への第一歩を踏み出した。

### 統合決定までの経緯 ―両校への思い―

歴史ある両校の統合。ここまでの道のりは、一朝一夕では語れない多くの方々の努力があった。県内で高校の再編が進む中、県教育委員会が平成13年に統合・共学化を発表。それ以降、統合・共学へのさまざまな意見が新聞報道をにぎわした。そんな中、平成18年に白高と白女の同窓会長や歴代生徒会長などが集まり、基本課題検討会議が発足。高校の名称や新高校のビジョンなどを話し合った。最初はやはり、それぞれの思いがぶつかったという。次第にまとまりこの日を迎えた。

### 「学び」と「問い」を ひらき ささえふ かめる

これは新白石高校のスローガンである。千田校長が入学式で「自ら学び自ら問いかける、心と体を鍛えることを惜しまない、そんな白高生であってほしい」と述べた。1年生は義務教育を離れ、自分が進むべき道を探し始める。2、3年生は、自分の夢を実現するために、そして新たな伝統と校風を築こうとまい進する。本年度の全校生徒は767人。それぞれの思いを乗せて、新たな高校がスタートした。

伝統を守り、どんな壁も乗り越える

(新) 白石高等学校  
生徒会長  
梶賀まな美さん  
Kajika Manami



先輩たちが教えてくれたこと、残してくれた足跡を残さず新白石高校へ持っていき、自らその跡を踏み固めて、新しい道をつくっていきます。  
白女の良き伝統を守り、さらに新たな伝統をつくり未来へとつないでいきたいです。新しい環境にとまどうかもしれません。でも、先輩たちが示してくれた白女生としての生き方を胸に掲げて、どんな壁も乗り越えていきます。

伝統を守り、新たな伝統をつくる

(新) 白石高等学校  
生徒会長  
我妻 克哉さん  
Agatsuma Katsuya



これまでは男子校・女子校としての伝統がありました。しかし、この高校は旧白高でも旧白女でもなく、新白石高校です。その意識を大切にしたいと思います。そして、みんなで協力し合い、それぞれによりよいものを出し合って、よりよいものをつくり上げていきます。定期戦や三大祭などでも新たな伝統をつくり上げていきたいです。もちろん、白高で培った「白高魂」は忘れません。

憧れの的たる白石高校に

白石市教育委員会  
教育長  
武田 政春  
Takeda Masaharu



中学校に入学すると、ほとんどの生徒は自分の将来の進路を具体的に考え出します。その最たるものが高校選択であり、それぞれの学校の理念や校風がその基準になると思います。新白石高校は、「志操凛風」「進取創造」「自強不息」の3つを校訓として、これから新しい校風を築き上げていくわけですが、常に、中学生にとってあこがれの学校であってほしいと願っています。

新たな歴史の幕開け

白石市長  
風間 康静  
Kazama Kojo



新白石高校という本の1ページ目が、今年開かれました。そこには、今年入学・入校した生徒と教師の言葉が、校風や伝統となり書きつづられるのです。自らが主役である自覚と誇りを胸に大いに汗をかき、学び競い、すべてを生かし、白石高校だからこそ得られることを楽しんでもらいたい。千里の道程もまずは一歩から。それぞれの夢の実現に向けて、大なる飛躍を期待します。新白石高の幕開けに万歳！

協力して伝統を引き継いでほしい

(旧) 白石高等学校  
PTA会長  
菅野 真彦さん  
Kanno Masahiko



過去の歴史をたどってもいろいろありました。白高・白女という名前にこだわらないで、白石の高校としてお互いが協力してほしいです。白高には白高のよさ、白女には白女のよさがありました。すべてがなくなり変わるわけではないので、両校の伝統をうまく引き継いで、良くなったと言われるように、さらなる新しい歴史を築いていただきたい。新入生にはひとつ「初心忘るべからず」の言葉を送りたいです。

自らが作り上げてこそ伝統

(旧) 白石高等学校  
同窓会長  
川井 貞一さん  
Kawai Teiichi



伝統とはただ単に年月を経ただけではなく、自らが創造してこそ伝統です。統合が良い悪いという話ではなく、統合することでよりよいものを創造していけばと思います。そのためには、中の人たちが熱い情熱を持って作り上げていく。有名な経済学者シュンペーターが「university is not building」という言葉を残しました。これを「high school is not building」に置き換えて、「建物よりも中身」という言葉を送ります。

素晴らしい学校になるように

(旧) 白石女子高等学校  
PTA会長  
大沼 弘子さん  
Onuma Hiroko



白女はたくさんの方にご支援いただきました。形としてはなくなりますが、皆さまの心の中にずっと残っていくものと思います。統合高でも、2つの学校の良いところがでるよう、素晴らしい学校になることを祈っています。人生はたくさんのお会いと喜びがあります。一つ一つの出会いを大切に、目標に向かって頑張ってください。PTAとして全力で支援していきます。

お互いの伝統を生かして…

(旧) 白石女子高等学校  
同窓会長  
吉村 昌美さん  
Yoshimura Masami



お互いの学校の良いところを持ち寄り、素晴らしい伝統を皆さんでつくっていただきたいと思います。男子生徒と女子生徒の皆さんがお互いを尊重し認め合い、お互いが協力し合って勉強や部活動などに精進すれば、地域はもちろん、国内外で活躍する人材と成長していくでしょう。また、功績を譲ることができるような、人格の向上にも努めてください。大いに期待しています。

共学になっても男子校の誇りを



(旧) 白石高等学校 前生徒会長 高橋 尚也さん  
前応援団長 新山 慎也さん

この白石高校で自分は成長できました。校歌にもある「理想の花をここに咲かせん」という歌詞を忘れずに、新白石高校でも一人一人が理想の花を咲かせてほしいと思います。共学になって学力が下がったと言われないように頑張ってください(高橋さん)。寂しいという思いは正直ありますが、男子校であったことを受け継いでほしいです。共学になったからといって、お互いが控えめにならないようにしてほしいです(新山さん)。

自分が歴史をつくる気持ちを持って

写真館経営 (白高出身)  
別部 英明さん  
Beppu Hideaki



長年、白石高校の写真を撮ってきました。統合の話が出たころは、やはり男子校は残したいというのが本音でしたが、時代の流れです。ならば新しい校風が出来上がってほしいと思います。明るい話題として、市民もみんな応援すると思います。生徒も新高校だという意識を持って、「自分たちが歴史をつくっていくんだ」という誇りをもって過ごしてほしいです。高校3年間にはいろんなチャンスが転がっています。大人になって思い出すことが多いです。高校時代が今の私のパワーと基礎になっています。勉強だけでなく、人として大きくなるような教育を期待します。

古い部分を残しながら新しいものを

マンガ家 (白女出身)  
安孫子三和さん  
Abiko Miwa



白女時代は、楽しい思い出がいっぱいです。沢端川や教室の窓から見える竹藪、昇降口の大きな鏡など、私はとても好きな風景でした。一番心に残っているのは、面白い先生がたくさんいたこと。  
古い、いい部分を残しながら、共学で新しい校舎・新しい環境で頑張りたいと思います。でも、たまには白女のお城周りを歩いてほしいですね。白石は水がきれいです。小さなお堀まで、きれいな水が流れています。そんな白石ならではの場所を歩くことで、良い波動を受け取って育ってほしいです。  
(平成21年11月3日、尚綱メディアフェスタにて)

さらなる発展を確信しています

(旧) 白石女子高等学校  
第30代校長  
須藤 亨さん  
Sto Toru



2年間、白女の校長をさせていただき、生徒から本当にたくさんのことを教してもらいました。  
生徒たちは、白女が受け継いできた伝統や精神、白石の中で果たしている使命というものを十分に感じて、誇りを持って新しい学校でもいいものを作り上げてくれるものと思います。  
新白石高校は千田校長をはじめ、開設の準備にかかわった同窓生などの思いが、みんな詰まっている学校です。地元の高校として、いろいろな意味で両校の伝統を受け継いで発展していくものと確信しています。

新生白石高校に思う

# 共学校の先輩—角田高校

角田高校は平成17年に統合して6年目を迎えます。統合する上では、大変な苦労があったと聞いていますし、その良さを一つ一つと、地域の方も職員も、生徒も保護者も取り組んできました。

### 生徒たちの意識に変化は？

統合初年度は、1年生は共学として、2、3年生は別学で生活していた中での統合とあって、生徒同士での気持ちに開きがあったと思います。それが次第に一体となり、自然な落ち着

融合—その実現に向けて努力することが教育そのもの。課題にこそ大きな可能性を見つけて切り開いていってほしいです。

きが出てきました。男子と女子が体育大会や定期戦などを、ごく自然にできるようになったという意味では、生徒たちは変わったのだと思います。生徒会では、平成21年度に初めて女子が生徒会長となりました。それも自然な形としてみんなが受け入れていきます。

地域とのかかわりに変化は？  
地域の方々は、統合したことによって応援しようという気持ちになったと思います。私たちも地域の活動に積極的に参加さ

せていただいています。地域に参加して、自分たちの発表する機会を与えてもらって、伸ばしてもらっていると思います。また、角田市はアメリカのインディアナ州グリーンフィールドと姉妹都市を結んでいます。向こうから中高生が訪れるときに、角田高校で交流しています。今後は、企業や小中学校とのつながりも大事にしていきたいですね。

### 定期戦について

定期戦は、仙南の雌雄を決するということ、文武両道の2つの学校が切磋琢磨して、その勢いで仙台勢に対抗していくぞという気持ちを高めるとい意味

で、非常に教育的意義があると思います。今後も継続してこういう話になっていきますが、仮に定期戦という形でなくても、交流を通して両校が切磋琢磨する機会というのは、何らかの形で持つていきたいと思っています。今後の課題はありますが、学業でも部活動でも、定期戦の趣旨が生かされるような形を模索していきたいと思っています。

●宮城県角田高等学校  
平成17年4月、旧角田高等学校と旧角田女子高等学校が統合して開校。定期戦をはじめ仙南の雄を競う好敵手として、統合前から白高・白女と深いかわりを持つ。現在は、本年12月の完成に向けて新校舎を建設中。



宮城県角田高等学校  
第3代校長 今野 充章 さん  
KONNO MITSUAKI

—PROFILE—  
昭和27年蔵王町生まれ。平成21年から現校長。平成21年から共学化した仙台三高で平成19・20年と教頭、平成15・16年には白石高校定時制課程中心校の教頭として在籍

白石高校へのメッセージ  
男子と女子が互いに協力して、人格的にも尊重し合いながら社会をつくる—たとえ少子化の流れとしても、これが本来の形なのかもしれません。男女共学によって最初は気持ちの溝がある、それがどんどんひとつに融合していく。それが大きな成果だと思います。その実現に向けて努力することが教育そのもの。課題があるから後ろ向きになるのではなく、そこに大きな可能性を見つけて切り開いていくことが必要だと思います。



本年12月に完成予定の角田高校の新校舎鳥観図



宮城県白石高等学校  
初代校長 千田 芳文 さん  
CHIDA YOSHIFUMI

—PROFILE—  
昭和26年岩手県金ヶ崎町生まれ。名取高・仙台二高教頭、県教育委員会を経て、平成18年4月から旧白石高校長を務める。

地域とともに—両校の歴史と伝統を継承・発展させ、新たな校風と歴史を築いていくために全力を尽くします。

統合の話が出た当初、県では両校を閉じて新しい高校をつくる計画でした。それが「両校の歴史と伝統を継承した新しい白石高校」に基本的な考え方が変わり、両校では閉校式を行わず、開校式だけを行いました。

### これからの白石高校

本校の教育目標は「21世紀の社会を担う人材育成」。普通科は進学重視型の単位制を導入しました。普通科のニーズはやはり進学。ただ、それはひとつの目標であり、それだけではなく

自ら探求する姿勢などを身に付けた生徒を育成することが重要です。これを今以上に伸ばしていきたいと思っています。また、全県一学区の話もあります。仙台に行かなくても、「自分の将来の夢を達成できる学校」にすることも大きな使命です。

### これからの白高生に

高校時代をよくグライダーに例えます。滑走して離陸して、風をつかむまではある程度教師が導いてやる必要がある。ただそこからの飛行は自分で気流を

とらえていかなければならぬ。自分のあごでかみ砕いて、消化吸収するような咀嚼力を身に付け、困難なことにチャレンジする心が大事と考えます。

高校生は子どもから大人へステップアップする時期です。そのシンボリックなものが、応援練習と定期戦でした。あの大変さを乗り越えて初めて、一人前の白高生として認められる。定期戦を終えると見違えるようになってくましくなります。単なるスポーツ・対校戦以上の意味があると思います。これからはずっと続けていければと思います。

また、白女には合唱祭がありました。みんなで協調して一緒

に作り上げていく、社会性や創造性を身に付けるのに大きな役割を持つていたので、これもぜひ続けていきたいと思っています。

### 地域とのかかわりについて

高校は地域とともにあるべきと考えます。白高は、地域との連携という点では少し弱かった思いがあります。地域の中で育てられ、支えられてきた学校です。「白石高校がこういうことをしている」ということを発信する必要がありそうです。ピーアールの点では白女の取り組みを参考に、積極的に地域の皆さんとかかわっていききたいです。

もうひとつは、中学校との連携です。白女ではこれまで、夏休みの期間を利用して中学生が授業を受ける機会を設けていました。中学生が高校の施設で勉強することはとてもいい刺激になりますし、間接的には学力の向上にもつながります。

●終わりに—  
統合をチャンスに  
自分が通った学校がなくなる：少子化といった時代の流れとはいえ、両校の同窓生や地域の方々にとっては、複雑な思いもあるだろう。  
取材を通して感じたこと…それは、多くの方が男子校・女子校だったことに誇りを持っている。そして、「統合は寂しい」と話す一方で、「伝統を引き継ぎさらにいい学校になれば」と前向きに答える方が多かった。時代が変われば、求められるものが変わる。看護科には男子2人が入学した。また、開校翌日からは女子が私服で登校する姿も見えた。  
新しいことを始めるということとは、とても大変なことである。今年1年はとまどうことが多くなるだろう。しかしそれ以上に、この歴史的転換期をチャンスに生かせないだろうか？ そのためには、高校だけでなく地域がどうかかわっていくかが重要となる。仙南の拠点校として、白石の人材育成の拠点校として、この新しい白石高校が地域とともに発展していき、高校と地域が手を取り合って育っていくことを期待したい。  
●特集 統合！白高と白女！ 終わり

## 日ごろの成果を発表 第29回公民館まつり

3月26日から28日の3日間、第29回公民館まつりを中央公民館で開催しました。このまつりでは、公民館で生涯学習に取り組む方たちが、歌や踊り、書道や絵画など1年間の成果を発表・展示しました。

27日には、健康社会学者としてテレビなどで活躍する河合薫さんの講演会や、体力測定、ニュースポーツ体験会、親子映画鑑賞会などを開催。28日には、エアロビクスやフラダンス、日本舞踊など、25の団体が日ごろの練習の成果をステージで披露し、発表した方も訪れた方もそれぞれにまつりを楽しんでいました。



▲キッズ・ジュニアエアロビックスサークルの発表

## 東北6県の強豪校が白石に集結 宮城県知事杯第7回中学生軟式野球春季白石大会



▲対酒田市立第四中との5回表、ヒットを放つ白石中の選手

4月3日・4日の両日、本市と蔵王町の球場を会場に宮城県知事杯第7回中学生軟式野球春季白石大会が開催されました。本大会には、東北6県から16チームが参加。本市からは白石中と東中、福岡中が参加し、各県の強豪校と熱戦を繰り広げました。酒田市立第四中(山形県)と対戦した白石中は、中盤まで接戦するも終盤でミスが重なり、惜しくも敗れてしまいました。

2日間の熱戦の末、仙台育英学園秀光中等教育学校が見事2連覇を達成。また、パンフレットの収益金は福島県の支援学校に寄付されました。

## 優勝目指して熱戦! また熱戦! 第8回全国デフバスケットボール選手権大会

3月20日・21日の両日、ホワイトキューブで聴覚障害者が出場する、全国デフバスケットボール選手権大会が開催されました。

今年で8回目となるこの大会には、全国から男子9チーム、女子6チームの計15チーム、約150人が出場。優勝を目指して熱戦が繰り広げられ、本県からは男女各1チームが参加しました。

20日は予選が行われ、手話でコミュニケーションを取り合い、次々とパスをつなぎながらディフェンスをかわし、ゴールを目指してシュートを放っていました。



▲ディフェンスをかわしてシュートする東京チーム

## おじいちゃん・おばあちゃん交通事故に気を付けて 第24回「交通安全さくらメール作戦」出発式



▲晴天の下、子どもたちの思いを乗せて出発しました

春の交通安全県民総ぐるみ運動が始まった4月6日、日本郵便白石支店駐車場で「交通安全さくらメール作戦」の出発式が開催されました。この作戦では、白一小と白二小の全校児童が、祖父母などに交通安全を呼び掛けるはがき1,018通を作成。心のこもったメッセージを送ることで、お年寄りや児童の交通安全の意識を高めることがねらいです。出発式では白石警察署の佐藤正孝署長が「この作戦を通して、交通安全の輪が浸透することを願います」とあいさつ。交通安全協会の皆さんが見守る中、子どもたちの思いを乗せたバイクが出発していきました。

## 皆さんもサッカーやりませんか? 「エンジョイサッカー」で Let's enjoy!

白石サッカー協会(大宮信明会長)では、白石川サッカー公園を利用しておむね月に1、2回、「エンジョイサッカー」を開催しています。「以前サッカーをやっていた、またやりたくなった」方などのために、サッカーの場を提供しています。誰でも気軽に参加できるとあって、取材した3月14日も、20代から60代まで約30人のサッカー好きが集い、楽しく真剣にプレーしていました。

5月以降は、5月16日(日)、6月6日(日)・19日(土)の9時30分から開催予定です。詳しくは、大宮会長(☎25-1073)までお問い合わせください。



▲真剣にプレーしてこそエンジョイ!

## みんなで門出を祝いました 白石市手をつなぐ育成会「卒業を祝う会」

3月14日、障害を持つ本人とその保護者でつくる「白石市手をつなぐ育成会」がこの春に小・中・高校を卒業する皆さんの門出を祝う「卒業を祝う会」を、ふれあいプラザで開催しました。

会にはこの春に卒業する13人のうち、4人の卒業生が出席しました。「これからも手をつなぎ合って頑張りたいです」と来賓の皆さんから祝辞があり、卒業生は「仕事を一生懸命頑張ります」と、お祝いに駆け付けた後輩や家族など約50人の前で、一人一人が今後の抱負を力強く話しました。



▲卒業を祝い、みんなで記念撮影!

## みんなで新しいことに挑戦 越河小学校で出前パソコン教室



▲パソコンの操作を学ぶ受講者の皆さん

3月25日、越河地域振興会(二瓶晃一会長)が主催した初心者向けの「出前パソコン教室」が、越河小学校で開催されました。春休み期間の小学校を利用して開催された今回の教室には、15人が参加。ほとんどの方がパソコンの操作が初めての中、基本操作やメールの使い方などを学びました。講師は、同振興会の文化・教育・環境専門部会長である松野久郎さんが務め、越河小学校の先生たちもお手伝いに入り、和気あいあいと行われました。受講者からは「思ったより難しかったが、次回も参加してスキルアップしたい」といった声が聞かれました。

## これを次のステップアップに 吉見教育基金顕彰事業顕彰状授与式



▲新体操で功績を収めた遠藤那央くん(白一小)

スポーツや芸術活動などで功績を収めた小中学生をたたえる「吉見教育基金顕彰事業顕彰状授与式」が3月26日、市役所で行われました。この基金は「子どもたちの教育に役立ててほしい」と、吉見学園の理事長を務めていた吉見たけさんの寄付を基に設立されました。

今回表彰されたのは、新体操や空手、水泳、絵画、書道などで活躍した17名と2団体の皆さん。風間市長が「これを契機にもうひとつステップアップしてください」とあいさつ。白石中の戸羽洋良子さんが「これからは一生懸命頑張ります」と、お礼と今後の抱負を述べました。

# 市民文芸

## 歌壇

岩崎 聰之介 選

縄張りをまもる稼業も染じやない突降るなか  
ネコ傷を舐む 寺崎 悦子  
初めてのおこの孫を抱く時はなるかなる祖に  
おもひを馳する 鈴木久美子  
この風向き明日は雨かも畑を打つ 齋藤 典子  
春を築しむ 齋藤 典子  
啓塾のぬくとき晴れ聞うぐひすは本音出しえ  
ず春を告げをり 八嶋 正子  
早春の温き午前を風邪癒えて幾日ぶりか湯ぶ  
夕暮るる無人の駅の広場には雨にうたれて自  
転車倒れをり 平岡 久子  
姉たちと語り笑う声にはと目覚む彼  
岸の朝 佐藤 啓子  
ケアハウスに昼湯浴みつつふと見付く茂みに  
あそぶ番いの雉子ぞ 山田 濱  
窓あけて眺むる庭のクロッカス春を先取る色  
の鮮やぐ 佐藤キワ子  
あたたかさ庭を踏めば水仙が春めく顔に迎  
え呉れたり 高子うこん

【評】一首目、猫の独白のごとき口調が効果的  
で、助詞を省いた結句も締まる。  
二首目、つながりへの感慨にひたる作者、  
誰しもの実感を詠んでおられる。  
三首目、手に直に伝わる春だ。上の句も含  
め気分をうまくまとめられた。「かも」は「か  
もしれぬ」の用法。

## 俳壇

遠藤 秋尾 選

ランドセル春の日のせて登校す 岩松 隆志  
畑打や小昼も運ぶ猫車 岩澤 伍峯  
梅三分雨の藁家が昼灯す 斎藤 典子  
春雷に心のすき間突かれけり 跡部祐三郎

## 風間市長の風のそよぎ

### 「掃除」

年度末の最終土日となった3月27日と28日には、白石市286平方キロメートルがきれいにまりました。27日の土曜日は、白石市観光協会主催の「沢端川川干し清掃作業」があり、シルパー人材センターや市内の企業に勤務している方など、総勢約370名により、堂場前からヨ1クベニマルまでの沢端川・館堀川の川の中や、さらにはご廟所と、8班に分かれての清掃作業が行われました。私も長靴・軍手、そして手にはこみばさみといういで立ちで、今年も参加しました。

初めて川干し清掃を実施したところと比べると、参加人数が増え、逆にこみばさみという状況がうれしく感じ、早朝のすてきな気分を味わえるひとときでした。しかし、川底には必ずいくつかの缶やビニール袋があることに驚かされます。今年はいきいきプラザ前の川面に、コイを多く回遊させるべく、デッキの周辺に川底の土を詰めた土のうを配置し、よどみを作りました。ところが、昨年ライオンズクラブの皆さんが放流したコイの数が激減。どこに行ってしまったのでしょうか？ 会員の方々に一生懸命餌付けを

していただいたのに……。上ったのか下ったのか？ 斎川には色コイが多く見られるとのうわさまで出る始末です。放流する時に名札を付けたいくらいです。今後は、土のうの設置によって、コイが沢端川に定着し回遊してくれることを願うのみです。

28日の日曜日には市内一斉クリーン作戦が開催され、各地区で約7、500名が参加しました。これにも毎回順番で、各地区にジャンパー姿で参加してい

だ清掃により、白石を訪れていただいた観光客もきれいになった町並みを楽しみ、花や木々や川面、そしてコイの回遊に癒やされることでしょう。そして白石を好きになり、また来たくなる城下町として良き印象を持ってもらえるものと思います。これもおもてなしの心のひとつです。みんなできれいな城下町を維持していきましょう。

連休には、全日本こけしコンクールや白石市民春まつりがあります。観光客を楽しませることも大切ですが、まずは私たち市民が大いに楽しむことこそ大切です。お互い参加して盛り上がりましょう。実は今、春まつりのパレードでどんな格好をするか思案中です。



▲川干し清掃作業には多くの方が参集しました

## まちの話題

～あの日、あの時～

### 越河の名所・旧跡を伝えたい 越河保育園に「こすごう今昔・方言かるた」を贈呈

3月18日、ケアハウスやまぶきを訪れた越河保育園の園児たちに、入居者と職員たち手作りの「こすごう今昔・方言かるた」が贈呈されました。

越河出身の入居者である山田濱さんが、「越河に関するかるたを作って子どもたちにあげたい」と、話をすることがきっかけで始まったかるた作り。山田さんが文章を考え、施設の職員たちで43枚の絵札を仕上げました。

かるたには「線路越え 階段登れば おすわさま」「ようようござりした お客様 ゆるりとない」など、越河にある名所や方言などが上手に描かれています。

かるたを受け取った園児たちは、入居しているおじいちゃんやおばあちゃんと一緒に、みんな笑顔で楽しく遊びました。また、遊んだ後は、園児たちから施設の皆さ

んに、お礼の歌がプレゼントされました。



▲みんなで楽しくかるた取りをしました

## 国際コーナー

### International Corner

#### 「自由を与えるシドニーの学生ライフ」

ちょうど桜が咲く前のころ、日本のもうひとつの「花」が咲きます。そう、学生が大人になる階段を一步踏み出し、卒業をします。幼い小学生から社会人になりかける大学生、みんなにとって新たなスタートです。

オーストラリアでは中学校や高校に行くのは権利だと思いましたが、日本では希望の中学校や高校に進めない生徒も多いようですね。オーストラリア人の僕にとって、これは少し厳しく感じます。なぜなら、オーストラリアは比較的生徒に優しい制度だからです。

基準の違いから説明します（オーストラリアは州によってシステムが若干異なるので、あくまでもシドニーの話です）。シドニーでは中学校と高校が一緒になっているので、1年生から3年生ではなく、7年生から12年生を合わせて「ハイスクール」と呼びます。公立の場合は普通、学校の近辺に住んでいれば進学するためのテストを受ける必要がなく、市民の権利として通うことができます。隣町に住んでいると、条件を出されることもあるようです（僕の友達も、生徒が少ない科目（ヘブライ語）を選択すれば入学できると言われました）。また、12歳

から18歳の生徒が同じ校庭で遊び、同じ施設を使います。

シドニーの教育システムは、中学生のころからプレッシャーを与えたり、競争させたりするよりも、自由を与えます。選択科目が多いですし、アジアやヨーロッパの言葉も若いころからたくさん試すこともできます。また、部活がないので毎日3時半ころには家に帰ります。その後は夜ご飯まで少し勉強したり、自由に遊んだり、早めに寝たりと、とても楽な生活です。実際、11・12年生（日本の高校2・3年生）の時だけ勉強に集中すれば、希望の大学に進学できますよ。

もうひとつの違いは卒業の期間です。12月の上旬に学年が終わり、南半球なので夏休みに入ります。10年生（高校1年生）で義務教育が終わるので、その時にちょっとした卒業式が行われます。本格的な卒業式は12年生で9月に行い、10月から大学受験が始まります。合格発表は学校の看板に掲示されないで、12月中旬にインターネットで確認したり、郵送で結果が届いたりします。

日本とシドニーの教育制度の違いは、まだまだたくさんあります。今回はその一部だけ。面白かったかな…？



# くらし百科

☎は問い合わせ先です

6月30日までは  
春の農作業安全運動期間です

白石市次世代育成支援行動計画  
(後期)をご覧ください

「見たつもり点検ミスが事故招く」  
過去10年間の県内の農作業死亡事故は110件で、そのうちの65割は転倒・転落です。特に乗用トラクターでの死亡事故が59割と多くなっています。

安全な農作業を心掛けることが第一ですが、万が一の事故に備えて労災保険に加入しましょう。一定の要件を満たしていれば、自営農業者本人が加入できる「特別加入制度」があります。ぜひ、活用しましょう。

### ■ 仕事前にもう一度確認！

- ① 機械や道具の点検・整備
- ② 休憩を取れる無理のない作業
- ③ 路肩の状況を確認
- ④ 農作業や機械作業に適した服装
- ⑤ ほ場の出入り、あぜ越えは慎重に
- ⑥ 点検・調整時は、必ずエンジン停止
- ⑦ 反射板の装着、点検

市民が安心して子どもを育て、次代を担う子どもたちが健康やかに成長できるまちを目指して、平成22年度から5年間の「白石市次世代育成支援行動計画(後期)」(平成22～26年度)を策定しました。

本市では、平成16年度に前期行動計画(平成17～21年度)を策定し、計画で掲げたさまざまな施策や事業を推進し、子育て環境づくりの推進に努めてきました。この計画が21年度で終了することから、前期計画の評価・検証など、必要な見直しを行いました。

後期行動計画では、これまでの基本理念である「子ども・親・地域みんなが育ちあうまちづくり」を継承し、この計画に基づいて引き続き各種子育て支援事業を推進していきます。

後期行動計画は、市庁舎1階子ども家庭課をご覧ください。  
☎22-1363

## 倒産や解雇などの理由による離職の方へ 国民健康保険税が軽減されます

平成21年3月31日以降に離職された方が対象となります  
平成22年4月から、次のような方は国民健康保険税が軽減されます。

- 対象者  
離職の翌日から翌年度末までに、①雇用保険の特定受給資格者(倒産・解雇などによる離職)、②雇用保険の特定理由離職者(雇止めなどによる離職)のいずれかに該当し、失業給付などを受ける方
- 軽減額  
国民健康保険税は、前年中の所得などにより算定されます。軽減に該当する方は、前年の給与所得を100分の30とみなして計算します。
- 軽減期間  
離職の翌日から翌年度末までの期間です。雇用保険の失業給付などを受ける期間とは異なります。

ただし、平成21年3月31日から平成22年3月30日までに離職された方は、平成22年度に限り国民健康保険税が軽減されます(平成21年度分は対象外となります)。

● 申請に必要な物  
申請される方は、雇用保険受給資格者証と印鑑(シヤチハタ不可)をご持参ください。申請は随時受け付けています。

● 注意点  
国民健康保険に加入中は、途中で就職しても引き続き対象となりますが、会社の健康保険に加入するなど、国民健康保険を脱退した場合は終了します。その後すぐに、自発的な失業により国民健康保険に再加入した場合は、失業軽減の対象とはなりません。再加入の時点で対象者に該当しても、その都度申請が必要となります。

※これまで勤めていた会社から本市に、該当者の報告などはありません。必ずご自身で申請されるようお願いいたします。

■ 国民健康保険税の課税限度額が改正されました  
地方税法の一部改正により、1世帯当たりの「医療給付費」の課税限度額が47万円から50万円に、また、「後期高齢者支援金」が12万円から13万円に引き上げられました。平成22年度分からの適用となります。

※制度の詳しい内容やご不明な点は、税務課までお問い合わせください。  
☎22-1313

## 子ども手当を受けるには申請が必要です

☎子ども家庭課 ☎22-1363

広報しろいし4月号でもお知らせした通り、本年4月から子ども手当制度が始まりました。本年度においては中学校修了までの子どもの養育者(保護者)に、子ども1人につき月額13,000円が支給されます。

子ども手当では、これまでの児童手当の支給額や支給対象児童が拡充され、所得制限もありません。

### ■ 申請の手続きについて

● 児童手当を受給していた方  
児童手当受給者の方は、基本的に4月分から子ども手当へ認定とみなされ、手続きは必要ありません。ただし、新たに対象となる中学2、3年生がいる場合は、「額改定認定請求書(増額)」の提出が必要です。

● 児童手当を受給していない方  
児童手当の受給者でない方で、中学校修了前までのお子さまを養育している方が受給するには、「認定請求書(新規)」による申請が必要です。

申請には①印鑑、②養育者の健康保険証の写し、③養育者の振込口座の通帳の写しなどが必要です。

※そのほかにも、必要に応じて提出する書類があります。

### ■ 子ども手当の概要(平成22年度)

子ども手当は、次代を担う子どもの健やかな育ちを、社会全体で応援するという趣旨の下に支給される手当です。

支給対象児童	0歳から中学校修了前(15歳到達後最初の年度末まで)の子ども
支給額	月額 13,000円
支給月	原則 2月・6月・10月 (それぞれ前月分までが支給されます)

※子ども手当の全部または一部の支給を受けずに、お住まいの市町村に寄付することもできます。

- 注意点  
支給対象の拡充に伴う新規・増額の場合で、4月分から子ども手当を受給するには、9月30日(木)まで申請が必要です。
- 申請は、養育者がお住まいの市町村で行ってください。また、公務員の方は勤務先で行ってください。
- 児童手当を所得制限のため受給していない方、お子さまと世帯を別に行っている方などはお申し出ください。

## 軽自動車税の納付はお早めに

● 軽自動車税の賦課対象者  
平成22年4月1日現在で、原付きバイクや小型特殊自動車、軽二輪車、軽四輪車、二輪小型自動車などの軽自動車を登録している方に、1年分の軽自動車税が賦課されます。

平成22年度の納税通知書を、5月7日(金)に発送する予定です。納期限は5月31日(月)です。早期の納付にご協力をお願いいたします。

※4月2日以降に廃車・名義変更手続きを行っても、月割りでの課税・還付はありません。

■ 軽自動車税の減免  
身体に障害のある方などが所有する軽自動車でも、もっぱら通学(通所)や通院、仕事のために使用する車両は、障害の種類や等級により、減免が受けられる場合があります。該当の有無をご確認の上、5月24日(月)まで申請してください。

● 申請に必要な物  
納税通知書、身体障害者手帳、運転免許証、車検証、印鑑

※普通自動車税(県税)の減免を受ける場合は、軽自動車税の減免は受けられません。

● 申請・問い合わせ先  
税務課 ☎22-1313

## 地デジの準備はお早めに!

アナログ放送は平成23年7月24日正午にすべての放送が終了し、地上デジタル放送(地デジ)に移行します。地デジを視聴するには、①地デジ対応のテレビには、②地デジチューナーを買い換える、③地デジチューナーを買い足すなどの方法があります。共同アンテナ施設でテレビをご覧の方は、デジタル化の施設改修が必要です。受信障害対策共聴施設でテレビをご覧の方は、受信障害が解消されることが多く、その場合はご自宅にUHFのアンテナを設置することも可能です。

また、テレビの購入については、エコポイントによる支援を行っています。このポイントはアンテナ工事にも利用可能です。地デジの準備に当たり、「何をすればよいか分からない」という方や「テレビを買ったのに受信できない」という方には、総務省テレビ受信者支援センター(デジサポ)がお手伝いします。詳しくは、デジサポのホームページ <http://digsupport.jp/> をご覧ください。総務省地デジコールセンターにお問い合わせください。  
☎0570-07-0101

20歳以上60歳未満の方で厚生年金に加入していた方が退職(失業)した場合は、市民課窓口で国民年金第1号被保険者になる手続きが必要です。第1号被保険者は自分で毎月保険料を納めます。平成22年度は月額15,100円です。

所得が少ないなど、保険料を納めることが経済的に困難な場合には、本人の申請によって保険料の納付が免除される制度があります。

免除制度を利用すると、免除された期間は、①老齢基礎年金・老齢厚生年金の受給資格期間に算入されます。②老齢基礎年金の2分の1の金額が保障されます。③障害基礎年金・遺族基礎年金の受給資格期間に算入されます。また、免除された期間でも10年以内に「追納」をして、老齢基礎年金の年金額を増やすこともできます。

■ 退職(失業)時の特例免除制度  
免除申請する年度、またはその前年度に退職(失業)した方は、保険料の特例免除制度を利用できます。この制度は、通常は審査の対象となる本人の所得を除外して審査を行います。ただし、配偶者や世帯主に一定以

- 手続きに必要な物  
①印鑑、②年金手帳、③雇用保険受給資格者証の写しなど、失業を確認できる公的機関の証明の写し、④平成21年1月1日時点で本市に住所がなかった方は、前住所からの課税証明書
  - 被扶養配偶者の方  
扶養になっていた配偶者の方も、配偶者の退職(失業)により、国民年金の加入の種類が、第3号被保険者から、第1号被保険者になりますので、市民課窓口で手続きが必要です。
  - 学生の皆さんへ、学生納付特例の手続きはお済みですか?  
20歳以上の学生の方で保険料の納付が困難な場合、申請により在学期間中の保険料の納付が猶予されます。学生納付特例制度があります。この手続きは在学期間中、毎年必要となります。
  - 手続きに必要な物  
①学生証 または在学証明書、②年金手帳、③印鑑
- ☎大河原年金事務所 ☎0224-5113113  
市民課 ☎22-1312





## 6 情報センター「アテネ」

http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/athens/

開館時間 火～日曜日 9:00～17:00  
5月の休館日 3・4・5・7・10・17・24・31日  
☎22-1500 ㊟22-1502

### ■パソコン講習会

#### ●申し込み締め切り

- ・5月分：5月6日(木)
- ・6月分：6月5日(土)

※締め切り後でも定員に空きがあれば受講できますので、お問い合わせ

してください。

#### ●会場 アテネ1階講習会場

●受講資格 図書館共用利用者カードをお持ちの方となります。

※即日発行可。ただし、市民または市内に通勤、通学している方が優

### パソコン講習会5月・6月分日程表

コース名	時間	5月	6月	定員	受講料	テキスト代	内容
ゆっくりVISTAコース (2日×6時間)	9:30～16:30	22(土)～23(日)	17(木)～18(金)	10人	2,000円	1,000円	パソコン初心者向けのコースです。マウス・キーボードの操作、文字入力・インターネット・電子メールなどのパソコンの基本操作を学びます。 ※2日連続のコースです。
Word 2007コース (6時間)	9:30～16:30	20(木)	19(土)	10人	2,000円	1,200円	Word2007の基本操作 ※ゆっくりVISTAコース終了程度の方が対象です。
Excel2007コース (6時間)	9:30～16:30	21(金)	20(日)	10人	2,000円	1,200円	Excel2007の基本操作 ※ゆっくりVISTAコース終了程度の方が対象です。

## 7 図書館

5月の休館日 3・4・5・7(館内整理日)・10・17・24・31日 ☎26-3004 ㊟26-3505  
http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/toshokan/

開館時間 火・金・土曜日 9:00～17:00  
水・木曜日9:00～19:00  
日曜日9:00～16:00

### ■5月連休中は、返却ポストを一時休止します

5月3日から5日まで、祝日のため休館になります。5月の連休期間中は、返却ポストの利用を一時休止します。

DVDやほかの図書館からの借り受け資料は、5月6日(木)以降にカウンターへの返却をお願いします。

6日(木)は9:00から19:00まで、通常通り夜間開館を行っています。

※DVDやほかの図書館からの借り受け資料は、カウンターへの返却をお願いしていますが、ポストへの返却が見受けられます。破損を防止するため、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

### ■楽しい新作DVD貸し出し中!

アテネ2階「情報センター内図書室」の貸し出し・館内視聴用のDVDを追加しました。人形劇や名作アニメなど、親子で楽しめる作品を新たにそろえています。ぜひ、ご利用ください。

### ■配本所をご存じですか?

図書館や「こまくさ号」巡回以外でも、市内25カ所の配本所から本を借りることができます。

本の入れ替えは、約60日間隔で行っています。

#### ●ご利用について

①配本所から本を借りる際は、その

●移動図書館車配本所一覧表(約60日間隔で本を入れ替え)

No.	配本所名	No.	配本所名
1	越河公民館	14	ふれあいプラザ
2	越河保育園	15	デイサービスセンターしろいし
3	斎川公民館	16	白石第二幼稚園
4	南保育園	17	北保育園
5	大平公民館	18	福岡公民館
6	ホワイトキューブ	19	総合福祉センター
7	大鷹沢公民館	20	特別養護老人ホーム「えんじゅ」
8	大鷹沢保育園	21	ケアハウスやまぶき
9	白川公民館	22	深谷公民館
10	鈴木理容所(白川地区)	23	深谷保育園
11	白川保育園	24	小原公民館
12	東保育園	25	白川小ボランティア
13	ひかり幼稚園		

先となります。

#### ●申し込み方法

アテネ備え付けの申込用紙で、各締め切り日までに申し込みください。はがきやファクスで申し込む場合には①住所、②氏名、③年代、④連絡先の電話番号、⑤利用者カード番号、⑥希望コース名と希望月日を明記してください。

なお、受講料やテキスト代は当日、1階受け付けにお持ちください。

#### 申込書のあて先

〒989-0257 白石市字巨理町37-3  
白石市情報センター

※締め切り日に集計し文書で講習日をお知らせします。定員を超えたコースは抽選などで調整します。なお、講師用に受講者名簿(氏名、年代のみ記入)を作成しますので、あらかじめご了承ください。

場で直接手続きするだけで本が借りられます。利用者カードは不要です。

②本を返却する際は、次回の本の入れ替え日までに、借りた配本所に返却するだけで結構です。

※閲覧のみの場合もあります。

武家屋敷催事「端午の節句展」  
無料入場券

※ファミリー・サポート・センターや子育て支援センターなどの子育て情報を34ページに掲載しています。

## 8 あしたば白石

5月の休館日 3・4・5・9・17・23・30日  
☎・㊟25-5095・25-6593

### 白石市に転入してきた皆さんへ

#### 「あしたば白石」ってどんなところ?

この春、白石市に引っ越してきた皆さん、生活は落ち着きましたか? 本市は蔵王と雪解けの水、木々や花々の調和が美しいすてきなところ。まだ知り合いが少なく不安だというあなたに「あしたば白石」の講座などをご紹介します。

友達づくりもかねて、ぜひご利用ください。

#### ●開館時間 9:00～21:00

#### ●住所 白石市新館町1-21

#### ●春の講座名(市主催)

##### 【昼の部】

初級よこ笛、漢詩を読む、木版画、ヘルシークッキング、英会話

##### 【夜の部】

韓国料理、女性限定! 着物着付け、初心者のための～白石版! 郷土民謡、華道家元池坊

※4月から受け付けを始めたため、空き状況などはお問い合わせください。

#### ●自主サークル活動(随時入会可)

##### 【昼の部】

水墨画、民話の会、合唱、水彩画、油絵、ちぎり絵、ギター、写真、書

## 9 材木岩公園内「検断屋敷」など

☎そば処小原なごみ茶屋 ☎29-2760

開館時間 9:00～16:30

#### 見学無料

##### 「材木岩売店」

豊富な品ぞろいで皆さまをお待ちしています。ぜひお越しください。

#### ●営業時間 9:00～16:00

##### 「そば処小原なごみ茶屋」

#### ●営業時間 11:00～15:00

(毎週水曜日定休)

#### ●メニューの一例(税込み価格)

- ・10割そば 900円
- ・ざるそば 800円
- ・ざるそばセット 1,100円

※「小原いきいき直売所」は、33ページの「しろいし・フレッシュマーケットだより」に掲載。

道、カラオケ、民謡おどり、太極拳、茶道、社交ダンス、レクダンス、洋裁、和裁、パッチワーク、ピラティス、英会話、着付け、型絵染、大正琴、琴、ヨガ、スコティッシュカントリーダンス

#### 【夜の部】

テニス、写真、英会話、茶道、卓球、実用毛筆細字、マジック、太極拳、社交ダンス

※活動日時などの詳細は、気軽にお問い合わせください。

#### ■男女共同参画推進事業「バラエティ・クッキング」受講者募集!

男性の皆さん、手軽にできる料理のノウハウを身に付けてみませんか?

#### ●開催日

6月10日、7月8日、9月16日、10月14日、11月11日(全5回、すべて木曜日)

#### ●時間 18:30～20:30

#### ●場所 あしたば白石 調理室

#### ●講師 半沢 誠子先生

#### ●参加費 3,000円程度(材料代)

#### ●募集定員

男性のみ15人(申し込み順)

#### ●申込受付開始日 5月6日(木)

## 10 弥治郎こけし村

#### 入村無料

5月の休村日 6・12・19・26日

開村時間9:00～17:00 ☎26-3993

#### 特別企画「國分榮一のこけし展」

#### ●期間 5月30日(日)まで

第20回全日本こけしコンクールの内閣総理大臣賞受賞者である、弥治郎系工人・國分榮一氏の作品を展示します。國分氏の作品と併せて、師匠である鎌田文市氏の作品も展示しています。皆さんのお越しをお待ちしています。

#### こけしの絵付け体験実施中!

こけしの絵付け体験ができます。自分だけのオリジナルこけしを描いてみませんか?

#### ●絵付け料 600円(木地代を含む)

## 図書館ひろば

### 今月のおすすめの本

#### 一般書

##### ■東北百名山地図帳

東北山岳写真家集団 著  
山と溪谷社

「地図」を重要視して組み立てた新しいスタイルの登山案内書。東北山岳写真家集団が厳選した東北の名山100の地図を、山のプロフィールや行程・歩行時間・累積標高差などとともに掲載、データは2010年1月現在です。



##### ■男のやせ弁

ガッツリ食べてやせられる!  
藤井 恵 著 講談社

「弁当だけじゃやせられない」なんて思いませんか? ボリューム満点で簡単な、いつの間にかやせられる、1食600キロカロリー以下の「やせ弁」レシピを紹介する1冊です。



##### ■幸田文季節の手帳

幸田 文 著 平凡社

季節の情緒に出会うことを心の福と言う幸田文の文章からは、常に濃い季節が立ち上り、そこには何かほっと心の和む思いがある。大切な日本の感受性を取り戻す名随筆です。



#### 児童書

##### ■13歳からの英語ノート

「苦手」が「得意」に変わる

超効率トレーニング

小野田博一 著

PHPエディターズ・グループ

英語は勉強するものではなく、身に付けるもの。英語の落ちこぼれの人たちに向けて、1日1ページの暗唱で驚くほど進歩する、実力アップトレーニングを紹介する1冊です。



##### ■メン! 試練の剣

開 隆人 作 高田 桂 絵  
そうえん社

20日後のスポーツ少年団剣道大会で1回戦を突破することが、剣道部存続の条件。主将・ミクを中心に、子どもたちの心が燃え上がる! 子どもたちの「生きる力」を熱く描く物語です。



旬の新鮮なしろいし産の農作物などの直売所情報を掲載しています。

●今月の旬の野菜

新タマネギ、キャベツ、ホウレンソウ、タケノコ など

1. 青っ葉市直売所

- ①ポーチパーク店(中町)
- 販売日時：毎週水・土曜日、9:00～13:00
- ②本郷店(旧国道113号角田街道踏切そば)
- 販売日時：毎週水曜日、9:00～12:00

③いきいきプラザ【沢端町】

5月8日(土)より営業を再開します。

※当日は赤飯を準備して、皆さまのご来店をお待ちしています。

- 販売日時：毎週土曜日、9:00～12:00

④ヤオチュウ東店内産直コーナーでも販売しています。ぜひ、ご利用ください。

- 問い合わせ：大槻 久江 ☎25-8572

2. パーバ工愛市(クラブいち)

- 販売日時：毎週水・土曜日、9:00～12:00
- 場 所：水曜日…JAみやぎ仙南白石地区本部構内  
土曜日…JAみやぎ仙南福岡支店構内(アグリハウス)
- 問い合わせ：JAみやぎ仙南女性部  
白石地区パーバ工愛市 ☎25-1344

3. 羽山朝採り市

- 販売日時：毎週土曜日、9:00～12:00
- 場 所：犬卒都婆公会堂前
- 問い合わせ：小畑 胖 ☎27-2236

4. 馬牛沼産直センター【定休日：毎週月・水・金曜日】

- 販売日時：毎週火・木・土・日曜日、10:00～17:00
- 場 所：国道4号沿い馬牛沼付近
- 問い合わせ：馬牛沼産直センター ☎25-0520

5. 百姓市場

- 販売日時：毎週火・日曜日、10:00～13:00
- 場 所：ポーチパーク内(中町)ほか
- 問い合わせ：佐久間 義昭 ☎25-6836

6. 小原いきいき直売所

- 販売日時：4月～11月、10:00～15:00
- 場 所：小原材木岩公園内
- 問い合わせ：小原いきいき直売所 ☎29-2760

城下広場軽トラ市 毎月第2・第4金曜日に開催中!

城下広場軽トラ市

- 販売日時：5月14日(金)・28日(金)9:00～12:00
- 場 所：すまゝひろば
- 問い合わせ：四竈 ☎29-2451、山田 ☎26-1345

「軽トラ市」と書かれた黄色ののぼり旗が目印です!

城下広場軽トラ市は、平成19年10月に設立しました。軽トラックやワゴン車を利用して気軽に農産物や手工芸品を販売し、消費者の皆さまと生産者が交流を深めるとともに、街のにぎわいづくりになればという率直な思いから始まりました。

会員は、地元農家の15人。みんなが自分の作った季節の新鮮野菜や果物のほか、切り花や鉢花、手作りアクセサリーなどを販売できるのが楽しくて、生きがいとなっています。もちろん、少しでも新鮮で安全な農産物が提供できるよう、日々頑張っています。

五月晴れの下、時には白石の街を散策しながら、すまゝひろばにぜひお立ち寄りください。



▲皆さまのお越しを心よりお待ちしております

※しろいし産の新鮮な旬の野菜や花、漬物、放し飼いの卵などを販売しています(直売所により品ぞろえは異なります)。  
※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。

1 いきいきプラザ

☎22-1635 ☎22-1636

5月の休館日 6・10・17・24・31日

定期リサイクル教室(定員10人)  
魔法の鉢作り



セメントと水に浸した紙を混ぜて植木鉢を作ります。通気性が良く、水やり後の気化熱で根が冷えるため、山野草や高山植物に適しています。

- 日時 5月15日(土)9:30～12:00
- 持参する物 ゴム手袋
- 申込受付開始日 5月4日(祝)

短期リサイクル教室(定員20人)

使わなくなったネクタイや端切れを利用して、小物入れを作ります。

- 開催日 5月18日、6月1・15・29日、7月6日(全5回、すべて火曜日)
- 時間(共通) 9:30～11:30
- 持参する物 古いネクタイ、端切れ、裁縫セット

●申込受付開始日 5月4日(祝)

フリーマーケット(第4土曜日)

- 日時 5月22日(土)8:30～12:00

青っ葉市(毎週土曜定期市)

- 開催日 5月8・15・22・29日
- 時間(共通) 8:30～12:00

2 片倉家中武家屋敷「旧小関家」

博物館建設準備室(中央公民館内)  
☎22-1343・☎24-5377

武家屋敷催事 端午の節句展

五月人形やのぼりを展示します。



- 日時 5月5日(祝)まで  
9:00～17:00

武家屋敷催事「端午の節句展」  
無料入場券(家族・グループ可)  
平成22年5月5日(祝)まで

3 古典芸能伝承の館「碧水園」

5月の休館日 6・10・17・24・31日  
☎25-7949

皷月の碧水園茶会【方円流煎茶席】

- 日時 5月23日(日)10:00～15:00  
(受け付けは14:30まで)

●お茶券 500円

碧水園能楽堂特別公演

能・狂言鑑賞会チケット発売中!

白石城開門15周年の記念公演として、第1部では地元愛好者の皆さんによる発表を行います。また、第2部では蠟燭に明かりをともし、幽玄な世界の中で舞う「蠟燭能 葵の上」を上演します。能の世界をお楽しみください。

- 日時 6月6日(日)  
16:30開場、17:00開演

●場所 碧水園能楽堂

●演目 蠟燭能「葵の上」

●出演 観世喜之、観世喜正、小島英明、桑田貴志ほか

4 ふれあいプラザ

土・日・祝も開館しています!

ふれあいプラザ事務局

☎22-6025 ☎22-6027

男女共同参画相談支援センター

☎22-6035 ☎22-6037

ファミリーサポートセンター ☎☎25-5488

開館時間 8:30～17:15

(土・日・祝日 10:00～16:00)

ふれあいミニ展示

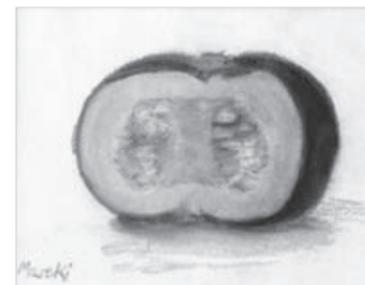
【第2回照井雅己パステル画展】

入場無料

昨年開催し、大変好評だった照井雅己さん(深谷地区在住)の『パステル画展』を今年も開催します。照井さんは、脳性マヒによる不自由な体で根気強く描き、とても明るく活ききを感じる作品を描いています。

●展示期間 5月31日(月)まで

●展示場所 1階図書コーナー



▲照井さんのすてきな作品

狂言「成上り」野村万作ほか

●入場料(全席指定) 正面指定席6,000円(補助指定席5,500円)、脇正面指定席5,500円(補助指定席5,000円)、中正面指定席5,000円(補助指定席4,500円)、学生席3,000円(小中学生無料)

●チケット取扱場所 碧水園

「ふれあい能楽セミナー特別講座」を開催します!

～明解! 能「葵の上」の世界～

入場無料

6月6日の能公演に先駆けて、能や演目の「葵の上」の衣装などを見ながら説明します。ぜひご利用ください。

- 日時 5月16日(日)  
15:00～16:30

●会場 碧水園能楽堂

5 スパッシュランドしろいし

☎29-2326 ☎29-2328

5月の休館日 6・12・19・26日

開館時間 10:00～20:00

各種教室の参加者を募集します。

ヨガ教室参加者募集

●開催日時 5月2・9・16・30日(すべて日曜日)、14:15～15:15

●受講料 1回 300円

アクアエクササイズ参加者募集

●開催日時 5月10・17・24・31日(すべて月曜日)、10:30～11:30

●受講料 1回 300円

※5月23日(日)と29日(土)は水泳大会のため、大会終了までプールとトレーニングルームがご利用できません(バーデゾーンと岩風呂は通常通りご利用できます)。ご理解とご協力をお願いします。

「スパッシュランドしろいし高齢者利用助成事業」をご利用ください

スパッシュランドしろいしを利用する70歳以上の方に、1回当たり300円を割り引く券を年間2枚交付します。

●申請場所

市庁舎1階市民課総合窓口、長寿課(市総合福祉センター内)、スパッシュランドしろいし

☎長寿課 ☎22-1361

●お父さんとお母さんの健診と相談 (場所:健康センター)

内容	5月分		6月分		受付時間
	月日	対象者	月日	対象者	
4カ月児健診	5月26日(水)	平成22年1月生まれの方	6月16日(水)	平成22年2月生まれの方	13:00~13:10
6カ月児育児相談	5月28日(金)	平成21年11月生まれの方	6月18日(金)	平成21年12月生まれの方	9:20~ 9:30
1歳6カ月児健診	5月27日(木)	平成20年10月生まれの方	6月17日(木)	平成20年11月生まれの方	13:00~13:10
2歳6カ月児 親子歯科健診	5月28日(金)	平成19年11月生まれの方	6月18日(金)	平成19年12月生まれの方	13:00~13:10
3歳6カ月児健診	5月25日(火)	平成18年11月生まれの方	6月15日(火)	平成18年12月生まれの方	13:00~13:10
乳幼児相談	5月 6日(木)	乳幼児~未就学児のお子さまと そのご家族の方	6月 3日(木)	乳幼児~未就学児のお子さまと そのご家族の方	9:15~ 9:45
妊婦歯科健診	6月8日(火)、10月5日(火)、平成23年2月8日(火)に、「妊婦さんと赤ちゃんのサロン」と合わせて行います。				

※[乳幼児健診]は個人に通知しませんので、広報しるしを閲覧の上、母子健康手帳・問診票・バスタオルを持参しておいでください。  
また、当日、都合の悪い場合は翌月に受診できますので、ご連絡ください。

●妊婦さんと赤ちゃんのサロン (場所:健康センター)

内 容	月 日	受付時間	サロン
助産師とお話をしながら過ごすサロンです。妊婦さん、4カ月児健診前のお子さんとその家族の方が対象です。希望により個別相談もできます。	5月11日(火)	9:20~10:00	10:00~11:00
	6月 8日(火)		

※母子健康手帳は、健康推進課窓口で随時交付しています(開庁日の8:30~17:15)。

●ポリオ予防接種を実施します (場所:健康センター)

種類	実施日	受付時間	対象者	持参する物
ポリオ(2回目)	5月12日(水)	13:30~14:30	生後3カ月~90カ月未満の幼児・児童	母子健康手帳と予診票
ポリオ(1回目)	5月20日(木)			

●“なかなかたばこやめられない”という方はいませんか? 5月31日は世界禁煙デーです

朝起きてすぐたばこを吸う方や、体の具合が悪いときも吸うという方は、「ニコチン依存症」の可能性があります。日本人の喫煙者の約7割はニコチン依存症と言われており、依存度が高くなるほど自力での禁煙は難しくなります。禁煙に関心がある方は、新しい禁煙補助薬やパッチなどもありますので、医療機関や健康センターまでご相談ください。自分や大切な家族の健康を守るためにも禁煙しましょう。

虫歯を予防しよう!

虫歯は食生活習慣病です。甘い物をだらだら食べたり、飲んだりしていると虫歯になりやすくなります。規則正しい食生活と仕上げ歯磨きで虫歯を予防しましょう!

虫歯ができてしまったら治療しなければなりません。特に子どもの虫歯は進行が早いので早めに治療することが大切です。

健康推進課 ☎22-1362

だ液は、歯を守る強い味方です

だ液には、溶けた歯の表面を修復する働きがあります。これを「再石灰化」と言います。

また、だ液には食べかすを洗い流したり、酸を中和したりする働きもあります。

だらだらと甘い物などを食べていると、歯を修復する時間が取れません。時間を決めて、よくかんで食べる習慣を心掛け、だ液の分泌量を増やして歯の再石灰化を促しましょう。



元気っ子! 集まれ!



▲3月23日の3歳6カ月児健診を受診した子どもたち

地域子育て支援センター「あいあい」

(ふれあいプラザ内) (南保育園3階)  
☎22-6025 ☎22-6027 ☎26-2586 ☎26-2925  
開館日 月~金 8:30~17:15

■「ベビーマッサージ」開催

ママと赤ちゃんのスキンシップ! 母乳や育児のことでお困りの方も、ぜひどうぞ。

●講師 助産師 岩佐あけみさん (母乳育児相談室マミーぱい×2)

●日時 5月20日(木)10:00~11:30

●場所 ふれあいプラザ和室

●対象 生後2~6カ月ごろまで

●募集定員 10組(申し込み順)

●参加費 100円(オイル代)

●持ち物 バスタオルなど

●申し込み方法 5月7日(金)以降、ふれあいプラザ内子育て支援センターに電話でお申し込みください。

■「リトミック第I期」参加者募集!

参加無料  
幼児のためのリズム教育「リトミック」です。ピアノの軽快な音に合わせて、「見る・聴く・感じる」心を親子一緒にはぐくみましょう!

●開催日 5月18日・25日、6月1日・8日の4回(すべて火曜日)

●時間 10:00~11:00

ファミリー・サポート・センター (ふれあいプラザ内)

☎・☎25-5488  
受付時間 月~金 9:00~17:00

■会員交流会を開催しました

3月4日、ふれあいプラザで「事例発表会」を開催し、約50人の親子が参加しました。「ファミサポを利用して、地域に親しい付き合いができる方が増えました」「お子さんの様子を手紙でやりとりしています」など、活動を通して得たものや工夫している内容が発表されました。

後半は絵本シアターやバルーンアートで楽しんだり、手作りのシフォンケーキを食べたりしながら、親子で楽しく交流を深めました。

■ファミサポ会員随時募集中!

お子さまの一時的な預かりや、送迎などが必要になったときにご利用ください。また、子育て支援に関心のある方の入会もお待ちしています。楽しい交流会や講習会なども実施しています。ぜひ、ご入会ください。

※9時45分までにお集まりください。

●場所 南保育園2階ホール

●対象 5月1日現在で、2歳以上~4歳未満のお子さま

●募集定員 15組(申し込み順)

●申し込み方法 5月7日(金)から、ふれあいプラザ内子育て支援センターに電話でお申し込みください。

※駐車場は、南保育園3階子育て支援センター玄関前をご利用ください。

■「あいあいランド」を開催します!

参加無料  
手遊びや体を動かして楽しく遊ばしましょう。保護者の方々の交流の場にもなっています。おじいさまやおばあさまも、ぜひお越しください。

●開催日および会場 5月26日(水)大平公民館

●時間 10:00~11:30

※参加を希望される方は、会場に直接お越しください。

●持ち物 親子ともに室内靴をご準備ください。また、お子さま用にお茶またはお水をお持ちください。

ご利用ください 「みやぎっこ応援カード」



▲このカードをご提示ください

●カードを提示すると

県内約3,000(市内約140)の協賛店で買い物をしたときなどに、各店独自のサービスを受けられます。詳しくは、みやぎっこ応援サイト(<http://miyagikko.jp>)をご覧ください。携帯電話からもご利用できます。

●対象世帯およびカードの配布

中学3年生までのお子さまか、妊娠中の方がいる世帯。

対象世帯には、平成20年6月にカードを配布しています。お持ちでない方はお問い合わせください。

☎子ども家庭課 ☎22-1363

■支援センターの子育てサークル 5月・6月の開催日のお知らせ

参加無料

お子さまの成長に合わせた、年齢ごとの子育てサークルです。

①ニコニコるーむ(0~6カ月児)

5月10日(月)、6月14日(月)

②ハイハイるーむ(7~11カ月児)

5月12日(水)、6月9日(水)

③ヨチヨチるーむ(1歳児)

6月2日(水) ※5月はお休み

④ランランるーむ(2歳児)

5月6日(木)、6月3日(木)

⑤ルンルンるーむ(3歳児以上)

5月13日(木)、6月10日(木)

※年度内でも、月齢などに応じて“るーむ”を移動できます。

●場所(共通) ふれあいプラザ

●時間(共通) 10:00~11:30

※参加を希望される方は、直接お越しください。

※各事業の詳細は、ふれあいプラザ内地域子育て支援センターにお問い合わせください。

子育て休憩室「とんとん」をご利用ください

親子で楽しく遊ばませんか?

●本年度の開催予定日

5月20日、6月17日、7月15日、9月16日、10月21日、11月18日、12月16日、平成23年1月20日、2月17日、3月17日

※すべて木曜日。本年度から原則毎月第3木曜日の開催となります。

●時間 各日とも10:00~12:00

※都合により開催日などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●主催 すぎのこ母親クラブ

☎第一児童館 ☎25-7070

5月のおはなしひろば

●開催日 5月13日(木)

●時間 11:00および15:30の2回

※原則、第2木曜日開催

●場所 アテネ1階階段シアター

●内容 紙芝居や絵本の読み聞かせ

☎図書館 ☎26-3004

### 生活習慣病 予防のための ヘルシークッキング

#### フルーツの カスタード添え

おいしいスイーツが 鍋ひとつでできます。

#### 材料(2人分)

小麦粉	小さじ4
砂糖	小さじ4
スキムミルク	小さじ4
牛乳	60cc
卵	1/3個
季節のフルーツ	適量
ミントの葉	適量



エネルギー88kcal / たんぱく質2.6g / 塩分0.1g

#### 〈作り方〉

- 鍋に小麦粉、砂糖、スキムミルクをよく合わせておく。これに牛乳、溶いた卵を加え、ダマがなくなるまで混ぜ合わせる。
- ①を中火に掛け、フツフツしてきたら弱火にし、とろみが付くまで加熱する。パットまたはボウルに移し、ラップを張り付けるように掛け、そのまま冷ます。
- 器に季節のフルーツを盛り、②を乗せてミントの葉を飾れば出来上がり。



ヘルスメイト白石  
久住さん(八宮地区)

#### ●各種検診の申込書は提出されましたか？ 未提出の方は、お早めの提出をお願いします

～申込用紙が送られた世帯はすべて、期限までに必ずご提出ください～  
現在、各種検診の申し込みを受け付けています。「申し込む・申し込まない(受診する・受診しない)」にかかわらず、必要事項をご記入の上、5月11日(火)までに返信用封筒で郵送するか、または直接、健康推進課(健康センター1階 ☎22-1362)に提出してください。なお、申込用紙がまだ届いていないという方は、健康推進課までお問い合わせください。

#### ●5月の献血実施予定

場 所	日 時	種 類
ホワイトキューブ(全日本こけしコンクール会場内)	5月3日(祝) 10:00～12:00および13:00～16:00	全血
白石市役所	5月6日(木) 10:00～11:00および13:00～15:00	成分
ヨークベニマル白石店	5月23日(日) 10:00～12:00および13:00～16:30	全血

#### ●宮城県仙南保健所からお知らせします

- エイズとクラミジアの相談・抗体検査を、次の日程で受けることができます。匿名で受けることができ、感染の可能性のある人は無料となります。  
・HIV検査 毎月第2・第4火曜日、10:00～12:00 ・HIV相談 平日の8:30～17:15(随時実施)
- 骨髄バンクドナー登録にご協力ください。年齢が18歳以上54歳以下で、かつ体重が男性45kg以上・女性40kg以上の健康な方であれば、どなたでも登録できます。  
・受付日時 毎月第2・第4火曜日、9:00～10:00 ※①②とも、事前予約が必要です。  
◎宮城県仙南保健所 疾病対策班 ☎0224-53-3121

#### ●こころの保健事業 (場所:健康センター)

事業名	対象者	内容	相談日時
こころの相談(精神保健福祉相談)	心の健康問題を抱える人およびその家族	精神科医による個別相談	5月11日(火) 9:30～12:00 6月1日(火) 9:30～12:00
もの忘れ相談(認知症相談)	物忘れや認知症の方およびその介護で悩む方々	精神科医による個別相談	5月26日(水) 13:00～15:00 6月23日(水) 13:00～15:00

※相談を希望する方は、事前予約が必要です。ご利用の方は健康推進課(☎22-1362)にお問い合わせください。

#### ●仙南保健福祉事務所からののお知らせ (場所:仙南保健福祉事務所)

※○印は精神科医による相談

事業名	対象者	内容	相談日時
アルコール専門相談	アルコールの問題を抱えている本人およびその家族	相談員による個別相談	5月14日(金) 13:00～15:00 6月4日(金) 13:00～15:00
思春期・ひきこもり専門相談	思春期の心の問題を抱えている本人およびその家族や関係者、ひきこもりの状態の本人およびその家族や関係者	相談員によるカウンセリングまたは、精神科医による相談(診察)	5月28日(金) 13:00～15:00 6月11日(金) 13:00～15:00 ○ 6月24日(木) 13:00～15:00 6月25日(金) 13:00～15:00

※相談を受けたい方は事前予約が必要です。ご利用の方は仙南保健福祉事務所 母子障害班(☎0224-53-3132)にお問い合わせください。

#### ●休日当番医・調剤薬局

月日	内科	外科	調剤薬局	歯科
5月2日	佐藤医院(蔵王町宮) ☎32-2002	公立刈田総合病院 ☎25-2145	四ツ目屋薬局(蔵王町宮) ☎32-3360 蔵王ヘルスマート薬局(蔵王町宮) ☎32-4550	白石市歯科休日診療所健康センター2階 ☎25-4744
5月3日	内方医院(蔵王町宮) ☎32-2101	つつみ内外科こどもクリニック ☎25-1181	にしろ薬局(蔵王町宮) ☎32-3020 フレンド薬局清水小路 ☎24-3393	
5月4日	柿崎小児科 ☎25-2210	橋本整形外科医院 ☎25-1616	あさひ薬局 ☎22-5040	
5月5日	たかはし内科クリニック ☎22-2535	さたけ整形外科(蔵王町田) ☎33-4855	みどり薬局城北店 ☎22-4966	
5月9日	亘理内科胃腸科医院 ☎25-8501	公立刈田総合病院 ☎25-2145		
5月16日	三浦内科胃腸科クリニック ☎25-6854	こまつ外科・内科クリニック ☎22-2115	けやき薬局白石店 ☎26-1160 フレンド薬局白石 ☎24-2119	
5月23日	海上内科医院 ☎25-1501	大泉記念病院 ☎22-2111	伊新薬局 ☎26-2593 宮調剤薬局 ☎24-3113	
5月30日	水野内科クリニック ☎25-2736	おおはし整形外科 ☎22-2888	エルム調剤薬局 ☎25-1680 高木薬局 ☎25-2320	
6月6日	梅津内科医院 ☎24-3571	公立刈田総合病院 ☎25-2145	フジ薬局 ☎24-3355	
6月13日	引地泌尿器科内科クリニック ☎26-2823	公立刈田総合病院 ☎25-2145	さんた薬局 ☎26-3376	

#### ●肝機能障害のため、身体障害者手帳3級をお持ちの皆さまへ～医療費を助成します～

身体障害者福祉関連法令の改正により、本年4月から、肝機能障害のため身体障害者手帳3級をお持ちの方も、医療費の助成を受けられるようになりました(※1)。該当者の方は、健康推進課(健康センター1階、☎22-1362)までご来庁の上、資格登録申請を行ってください。詳しくは、健康推進課までお問い合わせください。

#### ●持参する物 身体障害者手帳、本人名義の通帳(※2)、健康保険証(※3)、印鑑

- ※1. 所得制限に抵触する方は、受給者証を交付することができません。
- ※2. ゆうちょ銀行は店名、預金種目、口座番号の読み替え手続きが完了したものに限り。なお、障害者本人が20歳未満の場合は、保護者の預金通帳が必要となります。
- ※3. 70～74歳の方は、高齢受給者証も併せてお持ちください。

「認知症と間違われる 甲状腺機能低下症」  
最近の日本人の平均寿命はトップクラスであり、平成20年簡易生命表によると男性79歳、女性86歳で、この背景には国民皆保険制度があるためと考えられます。わが国は高齢社会に突入しましたが、現在認知症患者数は軽度のものを含めると約220万人に達すると言われています。  
甲状腺機能低下症は、高齢者の一般状態に似た症状を呈します。耳が遠い、寒がり、低くしゃがれたゆっくりにした会話、むくみ、乏しい表情、脱毛、冷たく乾いた皮膚、筋力低下、嗜眠、記録力注意力の低下、うつ様状態などです。そのため、甲状腺機能低下症は高齢者

では、見逃されていることが多いのです。精神的な面に焦点が合わせられ、加齢に伴ううつ状態、あるいは認知症初期と診断されています。従って、高齢者の甲状腺機能低下症は見落とすはならない疾患です。  
検査は一般的な採血や心電図、胸部X線写真などで、だいたいの診断がつかず、かかりつけの医療機関を受診されることをお勧めします。特殊な検査を必要とする場合は、専門の医療機関を紹介していただけます。  
治療は補充療法として甲状腺ホルモン製剤が投与され、症状が改善されます。薬は継続してください。



老人保健施設あさくらホーム  
馬場 英行

## 健康10xモ

### 国家公務員(Ⅲ種)募集

国家公務員採用Ⅲ種試験(高校卒業程度)を実施します。申込用紙の請求や受験資格などの詳細については、人事院のホームページをご覧ください。

- 受付期間 6月22日(火)~29日(火)  
※最終日の通信日付印有効
- 第1次試験日 9月5日(日)
- ☎人事院東北事務局 第二課試験係  
☎022-221-2022
- ホームページURL  
http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm

### 片倉小十郎ゆかりの地めぐり参加者募集

健康と史跡めぐりを兼ねた楽しい企画です。

- 日時 5月22日(土)  
10:00~15:00(※9:30集合)
- 集合場所 すまいるひろば
- コース すまいるひろば→白石城→神明社→武家屋敷→片倉家廟所→市内で各自昼食→城下広場→傑山寺→碧水園→壽丸屋敷
- 参加費 300円  
※昼食代、白石城・武家屋敷見学料は各自負担となります。
- 申込締め切り日 5月20日(木)
- 申し込み・問い合わせ先  
太田 ヨシ子 ☎080-1833-6775  
白石まちづくり(株) ☎25-6054

### 平成22年度白石和紙あかり製作ワークショップ参加者募集

- 日時 (いずれも9:00~17:00)  
5月23日(日)、6月13日(日)  
7月18日(日)
- 場所 壽丸屋敷大広間(中町)
- 内容 あかり製作、白石和紙の話
- 募集定員 20人(申し込み順)
- 参加費 3,000円(白石和紙、電球セット、竹ひご、風船、ポンド代など)
- 持参する物 はさみ、ペンチ、絵筆または刷毛、カッター、筆記用具、その他製作に必要な物
- 主催 蔵富人
- 申し込み・問い合わせ先  
蔵富人 阿部 ☎090-2727-5319

### ケアハウスやまぶき入居者募集

本施設は、福岡蔵本の「福祉の里」にある、60歳以上の高齢者向けの食事付き個室利用住宅(軽費老人ホーム)です。

眺望の良いゆっくりした環境で暮らしてみたいかですか。

- 募集対象 60歳以上の方で自炊が困難になった方や、一人暮らしの方など。
- 住所 白石市福岡蔵本字茶園62-1
- 入居費用 1ヵ月86,459円~122,159円(食事・水光熱費込み)  
※料金は所得額などに依りて変わります。
- 申し込み・問い合わせ先  
ケアハウスやまぶき  
☎25-8886 ☎25-0607

### 開催します

### 第34回こどもまつり

参加無料

元気にのびのび遊ぼうと、今年もこどもまつりを開催します。

各種お楽しみコーナーが盛りだくさん。ぜひ、家族そろって遊びにおいでください。

- 日時 5月9日(日)9:00~11:30
- 場所 中央公民館
- 内容 ペットボトルボウリング、丸太切り、押し花、的あてなど
- ☎子ども家庭課 ☎22-1363

### 認知症高齢者家族のつどい

認知症高齢者の介護は、とても大変です。介護しているの悩みや苦労をみんなで話し合っています。

家族同士の励まし合いや助け合いが大きな力になります。

- 日時 5月18日(火)13:30~
- 場所 介護予防センター
- 内容 座談会
- 参加費 100円(資料代など)
- 申し込み・問い合わせ先  
介護老人保健施設清風☎22-2110  
地域包括支援センター☎22-1361

### 第6回手づくりの市開催



入場無料

市内の団体・個人が参加し、手づくりの手工芸品などを展示・販売する『手づくりの市』を開催します。手づくりならではの“ぬくもり”あふれるものばかりです。皆さん、ぜひお越しください。

- 日時 5月29日(土)~30日(日)  
10:00~16:00
- 場所 壽丸屋敷大広間(中町)  
☎手づくりの市実行委員会  
(子ども家庭課内) ☎22-1363

### パーキンソン病患者の皆さんへ医療講演会と患者同士の交流会

- 日時 5月30日(日)13:00~  
受け付け開始12:00

- 場所 岩沼市総合福祉センター  
あいプラザ(岩沼市里の杜3-4-22)
- 演題 「パーキンソン病の治療法と新薬の開発について」

※講演後に質疑応答の時間を取っています。

- 講師 東北大学医学部神経内科  
長谷川隆文 先生

- 参加費  
非会員: 700円(資料代)  
会員: 2,000円(年会費)

- 申し込み方法 はがきに参加者全員の氏名、住所、電話番号を記入の上、5月20日(木)までお申し込みください(20日の消印有効)。

- 申し込み・問い合わせ先  
〒989-0218  
白石市鷹巣東四丁目3-5-5北-5号  
パーキンソン病患者とその家族の会  
会長 大沼 勝人あて  
☎事務局大槻 ☎090-3756-0610

### 城の会

新緑の白石城の下、伝統芸能舞台やお茶席をお楽しみください。

- 日時 5月16日(日)10:00~15:00
- 場所 白石城本丸内  
※雨天時は白石城内
- お茶券 500円
- 主催 城の会実行委員会  
☎麻生 ☎090-4095-8800

### 第1回白石高等学校合唱部定期演奏会

入場無料

4月に統合し新しい門出を迎えた、「白石高等学校合唱部」の第1回定期演奏会を開催します。

ユニセフへのチャリティー募金も実施します。皆さん、ぜひお越しください。

- 日時 5月16日(日)  
13:30開場、14:00開演
- 場所 仙南芸術文化センター  
(えずこホール)
- 演奏曲目 第1部は、新校歌を混声合唱で披露します。第2部は、林光作曲オペラ「セロ弾きのゴーシュ」をオペラで披露します。  
☎同校合唱部顧問 目黒  
☎25-3154

### 宝くじ文化講演 春風亭小朝独演会



- 日時 7月17日(土)  
13:30開場 14:00開演
- 場所 蔵王町ふるさと文化会館  
(ございんホール)
- 入場料(全席指定)  
前売券: 大人2,000円、高校生以下1,000円、当日券: 大人2,500円、高校生以下1,500円  
※宝くじの助成により、特別料金となっています。なお、未就学児の入場はご遠慮ください。
- チケット販売 5月18日(火)~
- チケット販売所 ございんホール、蔵王町各地区公民館
- 主催 蔵王町、蔵王町教育委員会、宮城県、(財)自治総合センター  
☎蔵王町ふるさと文化会館 ☎33-2018

### 高齢者叙勲 受章おめでとうございます

4月1日付けで「高齢者叙勲」受章者が発表され、教育功勞により小岩庄一様が受章の榮に浴されました。受章されました小岩様の榮をたたえ、市民の皆さんとともに喜びを分かち合いたいと思います。

☎総務課秘書係 ☎22-1333



### 高齢者叙勲(平成22年4月) 瑞宝双光章

小岩 庄一様(88歳) 【教育功勞】(西益岡町)

昭和16年4月に刈田郡白石国民学校に勤務されて以来、39年の永きにわたり奉職されました。

この間、柴田郡村田町立村田第一中学校長、白石市立白石中学校長などの要職を歴任し、学校教育の充実発展と児童・生徒の健全育成のためご尽力されました。

### 旭プロダクション「宮城白石スタジオ」誕生!

4月2日、アニメ制作会社である株式会社旭プロダクション(山浦宗春社長:本社東京)の「宮城白石スタジオ」開所式を、情報センター「アテネ」で開催し、本格的なアニメ制作がスタートしました。

開所式で山浦宗春社長は、「白石の地から全国に紹介し、地域に愛されるアニメを作りたいと思います」とあいさつしました。

スタジオは現在、東北出身の8人体制でスタート。3、4年後には30人ほどに拡大していく計画です。

同社と本市の間では、昨年11月26日にアニメなどの「デジタルコンテンツを活用した地域振興等に関する包括協定書」を締結。今後はアニメを活用したイベントなどでまちづくりに取り組んでいく予定です。



▲旭プロダクションとの連携をあらためて誓いました(左から佐藤県企画部長、山浦社長、風間市長)

### お知らせします

#### 紙上から お礼申し上げます

生活基盤の整備や福祉事業などのため、次の方からご寄付をいただきました。紙上からお礼申し上げます。  
大槻忠壽氏

#### 国保加入者の人間ドック 受診費用の一部を助成します

健康の保持増進のため、白石市国民健康保険にご加入の方が人間ドックを受診する際、その費用の一部を助成します。

●対象者 次の条件①～③をすべて満たす方が、対象となります。

- ①白石市国民健康保険の方
- ②満40歳の方（昭和45年4月2日～昭和46年4月1日生まれ）および満50歳の方（昭和35年4月2日～昭和36年4月1日生まれ）
- ③前年度分までの国民健康保険税に未納がない方

●助成内容 被保険者1人につき、27,800円を助成します。これにより、受診時の個人負担額が10,000円となります。ただし、オプション検査を希望した場合、その検査にかかる費用は個人負担となります。

- 定員 60人（先着順）
- 受付期間 5月6日（木）～19日（水）
- 受診期間 6月～10月
- 検査機関 公立刈田総合病院
- 申請方法 健康推進課（健康センター1階）に直接ご来庁の上、申請してください。
- 申請に必要な物 保険証、印鑑
- その他 年度内1回の助成となります。なお、人間ドックには特定健康診査の検査項目がすべて含まれますので、人間ドックを受けた方は、別途、特定健康診査を受ける必要はありません。ただし、受診結果は本市にも提供され、特定保健指導に活用されることがあります。
- 申請・問い合わせ先 健康推進課 ☎22-1362

#### チャイルドシートの 貸し出しを終了しました

いきいきプラザ内に開設していた「白石市チャイルドシート普及促進センター」が3月31日で終了となったため、チャイルドシートの貸し出しを終了しました。

なお、チャイルドシートの短期（1カ月）貸し出しは、引き続き白石地区交通安全協会にて受け付けていますので、ぜひご利用ください。

- 料金 1,300円（クリーニング代）
- ☎白石地区交通安全協会（白石警察署内）☎25-0977

### 募集します

#### ハーストビル市中学生派遣 引率者募集

姉妹都市ハーストビル市（オーストラリア）を訪問する、中学2年生10人を引率していただく方を募集します。

国際交流に関心のある方は、ぜひご応募ください。

- 募集定員 1人
- 派遣期間 7月29日（木）～8月8日（日）の11日間
- 応募資格 次の条件にすべて該当する、市内在住の成人の方
- ①国際理解や交流活動に興味・関心を持ち、一定の日常英会話能力を持つ、心身ともに健康な方
- ②派遣期間全日程と事前研修（4～5回）に参加できる方
- ③生徒を引率するにふさわしい人柄と責任感を持ち、過去にこの事業の引率を経験したことがない方
- 選考方法 書類選考および面接 ※面接の日時などは、申込者に直接ご連絡します。
- 応募方法 市庁舎4階学校教育課備え付けの応募用紙に必要事項を記入し、400字程度にまとめた引率者適性に関する自己紹介文を添えて提出してください。
- 申込受付期間 5月6日（木）～21日（金）、8:30～17:15 ※ただし、土・日曜日を除きます。
- 申し込み・問い合わせ先 学校教育課 ☎22-1342

#### 第19回市民グラウンド ゴルフ大会

参加無料

～楽しみながら体力づくりを～  
19回目を迎えた「市民グラウンドゴルフ大会」。健康づくりに、ぜひご参加ください。

- 日時 6月9日（水）8:30～
- ※雨天の場合は翌日に順延。
- 場所 白石川緑地公園 野球場
- 種目 ①団体の部（6人構成）  
②個人の部
- 募集人員 96人
- 申込方法 各公民館備え付けの申込書に記入し、生涯学習課スポーツ振興係まで提出してください。
- 申込締め切り日 6月2日（水）
- 主催 健康推進課、教育委員会生涯学習課
- 主管 白石市グラウンドゴルフ協会
- 用具 主催者側で準備します（クラブやボールの持込可）。
- 申し込み・問い合わせ先 生涯学習課 ☎22-1343・☎24-5377

#### 保健栄養教室受講生募集

～楽しく健康づくりをしませんか～

「『メタボ』と言われたけれど、食事はどう工夫すればいいの?」「自宅でも簡単にできる運動を知りたい!」「白石市民はどんな病気になりやすいの?」など、自分の健康づくりはもちろん、家族・地域の健康づくりを学習する教室です。

男女を問わず、たくさんの方の参加をお待ちしています。子育て中のお母さんには託児もありますので、お子さまと一緒にご参加ください。

- なお、この教室は食生活改善推進員の養成講座にもなっています。
- 開催期間 6～10月、全7回。  
※詳細は、追ってお知らせします。
- 場所 健康センターなど
- 募集定員 30人
- 受講料 実習材料費の一部として、1回につき300円
- 申込締め切り日 5月25日（火）
- 申し込み・問い合わせ先 健康推進課 ☎22-1362

#### 国際交流員募集

- 募集定員 国際交流員（嘱託職員）1人
- 勤務場所 白石市役所（総務課内）
- 雇用期間 7月1日（木）～平成23年3月31日（木）
- 職務内容 市の国際交流に関する事務、市民が異文化を理解するための交流や語学指導など
- 応募資格 白石市に在住する日本語語学能力2級程度の語学能力のある外国人、または白石市在住の日本国籍を有する英会話が堪能な方
- 試験日時など
  - ・試験日時 6月4日（金）13:00～
  - ・試験種目 論文および面接（英会話を含む）
- 応募手続き 市販の履歴書1通を、総務課まで提出または郵送してください。  
なお、履歴書は返却できませんので、あらかじめご了承ください。
- 申込受付期間・時間 5月10日（月）～28日（金）  
※土・日を除く、8:30～17:00（郵送の場合は、28日必着）
- 申し込み・問い合わせ先 総務課 ☎22-1331

#### 平成22年度「市民農園」 利用者再募集

- 場所 郡山字平成地内（普通自動車約10台駐車可）
- 募集区画数 7区画（1区画40㎡）  
※原則1家族1区画です。
- 賃借料 年間5,000円
- 貸付期間 6月～平成23年3月
- 募集期間 5月6日（木）～14日（金）  
※ただし、土・日曜日を除きます。
- 申し込み方法 農林課および市民課総合窓口備え付けの申込用紙でお申し込みください（市民課での提出可）。なお、様式は市のホームページからもダウンロードできます。  
※応募者多数の場合は、抽選で決定します。
- ☎農林課 ☎22-1253

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。家族みんなで過ごしましょう！ 今月は5月16日です。

#### 平成22年度放課後子ども教室 スタッフ募集

- 子どもたちの活動を見守り、一緒に遊ぶスタッフを募集しています。特別な資格は必要ありません。子どもが好きな方や、地域活動をしてみようと考えている皆さんなど、ぜひご参加ください。
- 開催地区 越河、斎川、大平、福岡の各小学校
- 開催日時 各小学校とも週1回程度、13:30～16:00ごろ。  
※年間40日程度。都合のつく日だけでも結構です。
- 謝礼 1時間当たり700円
- 申し込み・問い合わせ先 生涯学習課 ☎22-1343

#### 公立刈田総合病院看護師 修学資金貸付追加募集

- 申し込み資格
  - ①看護学校（准看護師養成学校は除く）に在学している看護学生の方
  - ②看護学校卒業後、看護師として当院に勤務する意思を有する方
- 募集人数 17人
- 貸付金額 月額5万円  
※貸付期間に1年を加えた期間、当院に勤務した場合は、返還を免除します。例えば、2年間貸し付けを受けた場合、看護師として3年間勤務すれば、返還を免除します。
- 貸付期間（最長2年間）
  - ・5年制看護学校：4～5年目
  - ・3年制看護学校：2～3年目
  - ・2年制看護学校：1～2年目
- 申し込み方法 当院所定の修学資金貸付申請書と学校長（施設長）の推薦書のほか、履歴書、戸籍謄本、在学証明書を提出ください。  
※申請書などは、当院ホームページからもダウンロードできます。
- 申込締め切り日 5月31日（月）  
※土・日・祝日を除く、8:30～17:15（郵送の場合は当日消印有効）
- 申し込み・問い合わせ先 同病院総務課 ☎25-2145（内線2405）
- ホームページURL <http://www.katta-hosp.shiroishi.miyagi.jp/>

#### バドミントン協会 メンバー募集

- ①白石ハイクリアーズバドミントンクラブ
  - 開催日 毎週木曜日9:30～12:00
  - 場所 白石市スポーツセンター
  - 会費 月1,000円
  - ☎小熊 ☎27-2923
- ②白石フラpps
  - 開催日 毎週水曜日19:00～
  - 場所 大平小学校体育館
  - 会費 月500円
  - ☎佐藤 ☎25-8654
- ③バドミントンクラブしろいしキャッスル
  - 開催日 毎週月曜日19:00～
  - 場所 福岡小学校体育館
  - 会費 月500円
  - ☎日下 ☎25-0262

#### 第14回わんぱく相撲仙南場所 参加者募集

- 相撲を通じ、子どもたちの心身の鍛錬と健康の増進を目的に、わんぱく相撲仙南場所を開催します。  
4年生以上の優勝者は、夏休みに両国国技館での全国大会に出場できます。
- 対象 男子小学生（1～6年生）
- 開催日 6月5日（土）  
※8:00受け付け開始
- 場所 宮小学校屋外土俵場  
※雨天時は宮小学校体育館で開催
- 申込締め切り日 5月24日（月）
- 申し込み・問い合わせ先（社）白石青年会議所 ☎24-4555

#### ことりはうす 春の蔵王トレッキング

- 日時 5月22日（土）9:00～15:00
- 内容 烏帽子岳の千年杉から石子沢遊歩道コースを案内します。  
※9:00にことりはうす駐車場に集合してください。
- 参加費 1,000円
- 申込締め切り日 5月20日（木）
- 申し込み・問い合わせ先 宮城県蔵王野鳥の森自然観察センター ☎34-1882・☎34-1871

# ほっと Hotな 白石の人

「ご苦労さま」と掛けられる言葉がうれしくて

小川 典男さん (本郷第三)

春と秋の交通安全運動をはじめ、児童、生徒の交通事故防止のために、街頭で朝早くからたくさんの皆さんが歩行者やドライバーに交通安全を呼び掛けています。

本郷第三地区にお住まいの小川典男さんは、昭和27年から交通安全運動に取り組んできました。このたび、平成19年6月に白石地区交通安全協会会長を勇退するまでの55年間の活動が認められ、本年1月に交通安全国民運動中央大会の席上、交通安全功労者として「交通栄誉緑十字金章」を受章されました。

交通安全運動を始めるきっかけを伺うと、「防犯と交通安全を兼ねて町内会で活動を行っていました。昭和27年に白石地区交通安全協会を発足する際、設立に協力するとともに会員として活動を始めました」と、58年前の記憶をたどりながら話してくれました。

活動を始めたころは、街頭で交通安全活動を行っていても、声すら掛けてもらえず「好きだからやってるんだらうと思われていました」と語る小川さん。しかし、全国での交通事故による死亡者数が1万人を超え、大きな社会問題となったころからは、「ご苦労さま」「ありがとうございます」などと、たくさんの皆さんから声を掛けてもらえるようになり、活動にもハリが出てきたそうです。「通学する子どもたちに『おはよう』と声を掛けると元気な声で必ず返してくれます」と、交通安全運動で喜びを感じた瞬間をうれしそうに話してくれました。



交通安全運動に全力で取り組んだ55年間を語る小川さん

交通安全活動の中で、一番印象に残っていることを尋ねると、「春の交通安全運動の中で『さくらメール作戦』を思いつき、20年以上たった今でもその運動が続いていることです」と話し、運動を始めたころを懐かしそうに思い出していました。



▲平成元年の「さくらメール作戦はがき引渡式」で白石第一小と白石第二小の児童からはがきを受け取る小川さん

「尊い命を守りたい。この一心で毎年心新たに交通安全運動を行ってきました。残念ながら交通事故がなくなることはありませんが、白石地区交通安全協会の顧問として第一線を退いた今でも、交通安全の推進のために何かできることはないだろうかと考えています」と語る小川さん。これからも、悲惨な交通事故から市民を守る交通安全活動に力を注いでくれることでしょう。

## 市内イベント掲示板

(5月1日～6月5日) (※ = 花火打ち上げ)

開催日	時間	イベント名	場所	有・無料	問い合わせ先	備考
～5月 5日(祝)	9:00～17:00	端午の節句展	武家屋敷「旧小関家」	大人200円 高校生以下100円 (32ページの無料券持参の方は無料)	博物館建設準備室 ☎22-1343	32ページ掲載
～5月 9日(日)	9:00～16:00	日本サクラソウ展	白石城大手門前	見学無料	白石城管理事務所 ☎24-3030	
5月 2日(日)	10:30～15:00	第7回春の検断屋敷まつり	小原検断屋敷	無料	小原公民館 ☎29-2031	
5月 3日(祝)～4日(祝)	9:00～17:00	第52回全日本こけしコンクール 第17回白石市地場産品まつり	ホワイトキューブ	入場無料	商工観光課 ☎22-1321	※ 9:00
5月 3日(祝)	10:00～16:00	白石市民春まつり	市内中心部	無料	商工観光課 ☎22-1321	※ 6:00 ※ 11:00
5月 3日(祝)	13:30～(小雨決行)	白石市民春まつり 「片倉鉄砲隊火縄銃演武」	白石城本丸	観覧無料	企画情報課 ☎22-1324	
5月 9日(日)	9:00～11:30	第34回こどもまつり	中央公民館	参加無料	子ども家庭課 ☎22-1363	39ページ掲載
5月 9日(日)	10:00～16:00	第2回しろいしアートマッチック	すまいるひろば	入場無料	不忘印刷所山田 ☎26-2070	42ページ掲載
5月16日(日)	15:00～16:30	ふれあい能楽セミナー	碧水園	入場無料	古典芸能伝承の館「碧水園」 ☎25-7949	32ページ掲載
5月16日(日)	10:00～15:00	城の会	白石城本丸	お茶券500円	城の会実行委員会 麻生 ☎090-4095-8800	38ページ掲載
5月23日(日)	10:00～15:00	碧水園茶会	碧水園	お茶券500円	古典芸能伝承の館「碧水園」 ☎25-7949	32ページ掲載
5月23日(日)	9:00～17:00	白石和紙あかり製作ワークショップ	壽丸屋敷	参加費3,000円(定員20人)	蔵富人 阿部 ☎090-2727-5319	39ページ掲載
5月29日(土)～30日(日)	10:00～16:00	第6回手づくりの市	壽丸屋敷	入場無料	手作りの市実行委員会(子ども家庭課内) ☎22-1363	39ページ掲載

## 5月の定例相談

## Monthly Consultation

相談種別	日 時	会 場	電 話
人権擁護	5月17日(月) 10:00～15:00	市庁舎2階 第2会議室	生活環境課 ☎22-1314
行 政	5月17日(月) 10:00～15:00	市庁舎2階 第2会議室	生活環境課 ☎22-1314
税 務	電話での相談のみとなります。国税に関するご相談は、大河原税務署(☎0224-52-2202)までお問い合わせください。		
無料法律	5月17日(月) 10:00～15:00	市庁舎3階 第3会議室	生活環境課 ☎22-1314
農 家	5月10日(月) 10:00～12:00	農林振興センター	農業委員会 ☎22-1256
精神保健福祉	5月11日(火) 9:30～12:00	健康センター(要予約)	健康推進課 ☎22-1362
もの忘れ	5月26日(水) 13:00～15:00	健康センター(要予約)	健康推進課 ☎22-1362
障 害 者	5月12日(水)・26日(水) 13:00～15:00	福祉プラザやまぶき	福祉事務所 ☎22-1400
補聴器巡回サービス	(リオン) 5月13日(木)・26日(水) (ワイデックス) 5月25日(火) 13:00～14:00	市庁舎1階 東側和室	福祉事務所 ☎22-1400

## イベントニュース

## News

### 第2回「しろいしアートマッチック」を開催します！

5月9日(日)の10時から16時まで、すまいるひろばでS.A.P (Shiroishi Artist Project) が主催する第2回「しろいしアートマッチック」が開催されます。

S.A.Pは、市内中心部を拠点としてさまざまなアーティストを集め、音楽ライブや絵画展などのイベントを行い、市内活性化を目指す市民活動団体です。

今回で2回目となる「しろいしアートマッチック」では、市内外からさまざまなジャンルのアーティストが集まります。ひろばでは、手作りのアート作品をフリーマーケット形式で展示・販売を行い、ステージでは、S.A.P主催のマンスリー音楽ライブを同時開催します。飲食ブースもありますので、フリーマーケットや音楽ライブを気軽に楽しむことができます。

ゴールデンウィーク最後の日曜日に皆さまお誘い合

せの上、ぜひお越しください。

◎不忘印刷所 山田 ☎26-2070

公式ブログ <http://artmatic.blog73.fc2.com/>



▲第1回の昨年は、晴天の下で多くの市民が訪れました

# ちびっこ美術館



「運動会  
元気いっぱいおどったよ」



たかやま のりひさ  
高山 典久さん  
(白石第二小・3年)

# わが家の アイドル

ママからひとこと  
みんなで、  
いっぱい遊ぼうね!

パパからひとこと  
二人、仲良く  
元気に育ってね!



さとうあかり  
佐藤明香里ちゃん・花奈恵ちゃん  
尚子さんご夫妻の長女・二女(白川内親)

※わが家のアイドルを募集中!  
詳しくは総務課広報広聴係  
(☎22-1331)へ

## ●いじめ相談 (アイライン)

Eメール i-line@city.shiroishi.miyagi.jp 【24時間受け付け】  
※電話相談も実施しています(毎週月～金 8:30～16:30)。  
いじめ問題等対策室(教育委員会内) ☎22-1350

## ●家庭児童相談

毎週月～金 8:30～16:00  
総合福祉センター ☎22-1400

## ●高齢者総合相談 (事前連絡必要)

毎週月～金 8:30～17:15  
①地域包括支援センター(総合福祉センター内)  
☎22-1361(長寿課兼用回線)

②在宅介護支援センター茶園 ☎25-9955  
③在宅介護支援センター八宮 ☎24-5222

## ●青少年相談

毎週月・火・木・金 8:30～16:30  
市庁舎4階 青少年相談センター ☎22-1342(内線445)

## ●消費生活相談

毎週月・水・金 9:00～16:00  
消費生活相談室(いきいきプラザ内) ☎22-0783

## ●DV・セクハラ相談 (事前連絡必要)

毎週月・水・金 9:00～17:00  
男女共同参画相談支援センター(ふれあいプラザ内)  
※電話相談も実施しています。☎22-6035

## 5月は 固定資産税(1期) 軽自動車税(1期)の納期です。

「夜間収納総合窓口」開設(市で取り扱うすべての税金・料金の納付)

仕事などで忙しい方、ぜひご利用ください。

●日時 5月25日(火)・26日(水)  
17:30～19:30(市税は17:30～20:00)  
●場所 市庁舎1階 収納管理室・会計課ほか

■人口 37,968人(前月比)－162人  
男18,568人 女19,400人

■世帯数 13,889世帯

■出生件数 27件

■死亡件数 41件

■めんこ印贈呈該当婚姻数 10組(3月1日～31日)

※住民基本台帳から、3月31日現在

## 市内の交通事故 3月1日～31日( )は1月からの累計

■発生件数 88件(228件) ■死亡者数 0人( 0人)  
■負傷者数 17人( 38人) ■物損件数 72件(196件)

## 「しろいし安心メール」の登録方法

「shiro-i@posh.jp」あてに空メールを送信して、  
案内に従ってご登録ください。  
二次元バーコード対応携帯電話をお持ちの方は、  
右のバーコードをご利用ください。



## 平成22・23年度の市政モニターに委嘱状を交付しました

市民生活を営む中で気付いたことや感じたこと、市政のあり方に対して提言を行う市政モニター。このたび、平成22・23年度の市政モニターとして市内に住む40名の皆さんが選出され、4月11日に市庁舎会議室で委嘱状交付式を行いました。

本市では市民の生の声を聞きたいという思いから、広聴事業の一環として平成4年にこの制度を設けました。任期は2年間で、今回選出されたモニターの皆さんは10代目となります。

式の中で風間市長は、「お互いに支え合うようなまちづくりを目指します。本市の方針についてご指導をいただき、共汗・共学・共生のための原動力になってほしい」と、モニターの皆さんの活躍を期待し、あいさつしました。

今後は、生活の中で気付いたことなどを報告していた

くほか、アンケート調査などにご協力いただきます。今後2年間、よろしくお願いいたします。



▲新たに委嘱された市政モニターの皆さん